

教育に関する事務の管理及び執行の状況の  
点検及び評価結果に関する報告書  
(平成30年度分)

令和元年11月  
小美玉市教育委員会

## 目 次

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動状況	2
1	教育委員会の開催状況	2
2	教育委員会審議案件	3
3	総合教育会議の開催状況	6
4	その他の活動	7
III	教育委員会の点検及び評価	8
1	点検・評価の対象	8
2	点検・評価の方法	8
3	小美玉市教育振興基本計画に掲げる施策	9
4	施策体系	10
5	施策の実施状況	17
◆	基本方針1 子供たちの自主性・自立性を培い、自ら学び、たくましく社会を生き抜く力を育みます	
	【基本施策1】命を大切にする心の育成	17
	【基本施策2】健やかな体の育成	20
	【基本施策3】社会を生き抜く力の育成	26
	【基本施策4】就学前教育の充実	30
	【基本施策5】次代を担う青少年の健全育成	38
◆	基本方針2 確かな学力の定着を図るとともに活用する力を伸ばし、子供たち一人一人の可能性を広げます	
	【基本施策1】確かな学力の定着	46
	【基本施策2】新たなニーズに対応した教育の推進	50
	【基本施策3】キャリア教育の充実	53
	【基本施策4】情報活用能力を育てる教育の充実	55
	【基本施策5】インクルーシブ教育の充実	58
◆	基本方針3 地域がもつ特色や実態に合わせたより良い学習環境をつくります	
	【基本施策1】小中一貫教育の推進と学校の適正規模・適正配置	62
	【基本施策2】教職員の業務の質を高めるための支援やサポート体制の充実	64
	【基本施策3】安全・安心で、地域とつながる教育施設整備の推進	66
	【基本施策4】いじめや不登校等、児童生徒のためのサポート体制の充実	69
	【基本施策5】地域に開かれた学校の推進	72

◆基本方針4 生涯にわたる市民の学びや文化芸術活動を目指した学習環境をつくり  
ます

【基本施策1】生涯学習社会の実現	74
【基本施策2】知識の醸成と価値創造の場の充実	84
【基本施策3】文化芸術の創造・発信	90

◆基本方針5 生涯にわたる市民のスポーツ活動の活性化を目指したスポーツ環境を  
つくります

【基本施策1】子供のスポーツ機会の充実	98
【基本施策2】生涯スポーツ活動の推進	101
【基本施策3】スポーツ環境の充実	105
【基本施策4】スポーツ施設の充実	110

6 小美玉市事務事業点検評価委員の意見	112
---------------------	-----

## I はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験を有する者の知見の活用を図りつつ点検・評価を行い、その結果について議会に報告するとともに、公表しなければならないとされています。

教育委員会制度は、首長から独立した行政委員会として位置付けられた教育委員会が、教育行政における重要事項や基本方針を決定し、教育長及び事務局が具体の事務を執行するものです。

このため、教育委員会の行政の執行状況について、教育委員会自ら事後にチェックする必要性が高いものと考えられ、この点検・評価は、教育行政の基本的な方針の策定と同様に、教育長に委任せず教育委員会が管理・執行しなければならない事務として位置付けられています。

また、平成 30 年度から 10 年間の計画期間とする「小美玉市教育振興基本計画」の進捗管理を併せて行っており、計画の推進を図っています。

### 【参考】

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 教育委員会の活動状況

### ◆教育委員

職名	氏名	任期
教育長	加瀬博正	平成30年7月1日～令和3年6月30日
教育長職務代理者	澤島照子	平成27年6月20日～令和元年6月19日
委員	中村三喜	平成29年6月20日～令和3年6月19日
委員	鶴町庄二	平成30年6月20日～令和4年6月19日
委員	山口和弘	平成30年6月20日～令和4年6月19日
委員(保護者)	柴田千青	平成28年6月26日～令和2年6月25日

#### 1 教育委員会の開催状況(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

教育委員会の会議は、小美玉市教育委員会会議規則第2条第2項に基づき定例会を開催し、必要な場合は、同規則第2条第3項に基づき臨時会を開催しています。

開催日	委員会	議案件数	報告件数	協議件数
平成30年4月27日	平成30年4月定例会	0	17	0
平成30年5月24日	5月定例会	7	7	0
平成30年6月29日	6月定例会	0	4	0
平成30年7月25日	7月定例会	2	3	0
平成30年8月24日	8月定例会	1	2	0
平成30年9月27日	9月定例会	2	2	0
平成30年10月24日	10月定例会	2	2	0
平成30年11月19日	11月定例会	3	1	0
平成30年12月21日	12月定例会	2	2	0
平成31年1月25日	平成31年1月定例会	3	2	0
平成31年2月21日	2月定例会	6	2	1
平成31年3月15日	3月臨時会	2	0	0
平成31年3月26日	3月定例会	12	1	0
合計		42	45	1

## 2 教育委員会審議案件

開催日	件 名 (議案名・報告名)	
平成 30 年 4 月 27 日	報告	専決処分の承認を求めることについて(小美玉市学校運営協議会規則の一部を改正する規則)
	報告	専決処分の承認を求めることについて(小美玉市幼稚園医の解嘱・小美玉市幼稚園歯科医の解嘱・小美玉市幼稚園薬剤師の解嘱・小美玉市学校薬剤師の解嘱・小美玉市幼稚園薬剤師の委嘱・小美玉市学校薬剤師の委嘱)
	報告	専決処分の承認を求めることについて(学校事務共同実施グループ事務長の任命)
	報告	専決処分の承認を求めることについて(小美玉市通級による指導実施要綱の制定)
	報告	専決処分の承認を求めることについて(小美玉市就学援助事務要綱の一部を改正する訓令)
	報告	専決処分の承認を求めることについて(おみたま和太鼓フェスタ実行委員会補助金交付要綱の制定)
	報告	専決処分の承認を求めることについて(小美玉市社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱)
	報告	専決処分の承認を求めることについて(小美玉市青少年相談員の委嘱)
	報告	専決処分の承認を求めることについて(小美玉市図書館協議会委員の委嘱)
	報告	専決処分の承認を求めることについて(小美玉市文化財保護審議会委員兼史料館協議会委員の委嘱)
	報告	専決処分の承認を求めることについて(小美玉市やすらぎの里小川運営委員の委嘱)
	報告	専決処分の承認を求めることについて(小美玉市生涯学習センターコスモスプロジェクト委員の委嘱)
	報告	専決処分の承認を求めることについて(小美玉市スポーツ推進審議会委員の任命)
	報告	専決処分の承認を求めることについて(小美玉市スポーツ推進委員の委嘱)
	報告	就学援助について
	報告	区域外就学及び指定校変更について
報告	専決処分の承認を求めることについて(小美玉市教育相談員設置規則の一部を改正する規則)	
平成 30 年 5 月 24 日	議案	小美玉市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
	議案	小美玉市基金条例の一部を改正する条例について
	議案	平成 30 年度教育予算 (6 月補正) について

開催日	件 名（議案名・報告名）	
	議案	小美玉市社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について
	議案	小美玉市小学校統合準備委員会委員の委嘱について
	議案	小美玉市義務教育学校開校準備委員会委員の委嘱について
	議案	小美玉市学校給食運営委員会委員の委嘱について
	報告	専決処分の承認を求めることについて(小美玉市学校運営協議会委員の任命)
	報告	専決処分の承認を求めることについて(小美玉市教育支援委員会委員の任命)
	報告	専決処分の承認を求めることについて(いじめ防止推進委員会委員の任命)
	報告	専決処分の承認を求めることについて(学校給食献立会議員の任命)
	報告	専決処分の承認を求めることについて(小美玉市学校評議員の委嘱)
	報告	就学援助について
平成 30 年 6 月 29 日	報告	区域外就学及び指定校変更について
	報告	専決処分の承認を求めることについて(小美玉市教育相談員の委嘱)
	報告	長期休業中等の学校等閉庁日の設定について
	報告	就学援助について
平成 30 年 7 月 25 日	報告	区域外就学及び指定校変更について
	議案	平成 31 年度小・中学校において使用する教科用図書並びに小・中学校特別支援学級(知的障害)において使用する教科用図書の採択について
	議案	小美玉市運動部活動の在り方に関する活動方針について
	報告	平成 29 年度小美玉市一般会計(教育費)の決算について
	報告	就学援助について
平成 30 年 8 月 24 日	報告	区域外就学及び指定校変更について
	議案	平成 30 年度教育予算(9月補正)について
	報告	就学援助について
平成 30 年 9 月 27 日	報告	区域外就学及び指定校変更について
	議案	平成 31 年度小美玉市立幼稚園園児募集要項について
	議案	小美玉市就学援助費支給要綱の制定及び小美玉市就学援助事務要綱の廃止について
	報告	就学援助について
平成 30 年 10 月 24 日	報告	区域外就学及び指定校変更について
	議案	小美玉市立学校設置条例の全部を改正する条例について
	議案	小美玉市放課後児童健全育成事業実施規則の一部を改正する規則について
	報告	就学援助について

開催日	件 名 (議案名・報告名)	
	報告	区域外就学及び指定校変更について
平成 30 年 11 月 19 日	議案	小美玉市教育相談員設置規則の一部を改正する規則について
	議案	小美玉市放課後子どもプラン実施規則等の一部を改正する規則について
	議案	平成 30 年度教育予算 (12 月補正) について
	報告	区域外就学及び指定校変更について
平成 30 年 12 月 21 日	議案	小美玉市学校管理規則の一部を改正する規則について
	議案	小美玉市児童生徒の就学に関する規則の一部を改正する規則について
	報告	就学援助について
	報告	区域外就学及び指定校変更について
平成 31 年 1 月 25 日	議案	小美玉市基金条例の一部を改正する条例について
	議案	小美玉市学校管理規則の一部を改正する規則について
	議案	小美玉市教育委員会職員の任免について
	報告	就学援助について
	報告	区域外就学及び指定校変更について
平成 31 年 2 月 21 日	議案	小美玉市玉川地区学習等供用施設条例の一部を改正する条例について
	議案	小美玉市玉川地区学習等供用施設条例施行規則の一部を改正する規則について
	議案	小美玉市立幼稚園児預かり保育に関する規則の一部を改正する規則について
	議案	平成 30 年度教育予算 (3 月補正) について
	議案	平成 31 年度教育予算 (当初補正) について
	議案	小美玉市奨学生の採用について
	報告	就学援助について
	報告	区域外就学及び指定校変更について
	協議	市立幼稚園 (美野里地区) の統合 (案) について
平成 31 年 3 月 15 日	議案	平成 30 年度末・平成 31 年度始め県費負担教職員の任免に関する内示について
	議案	小美玉市非常勤幼稚園長の任命について
平成 31 年 3 月 26 日	議案	小美玉市各区公民館整備費補助金交付規則の一部を改正する規則について
	議案	小美玉市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について
	議案	小美玉市立小川南小学校スクールバス運行管理規程の制定について
	議案	小美玉市運動部活動の在り方に関する活動方針の一部改正について
	議案	小美玉市立幼稚園長の任命について
	議案	小美玉市スクールソーシャルワーカーの任命について

開催日	件 名（議案名・報告名）	
	議案	小美玉市教育相談員の委嘱について
	議案	小美玉市ティーム・ティーチング非常勤講師の任命について
	議案	非常勤特別職（学校三師）の委嘱について
	議案	小美玉市社会教育指導員の委嘱について
	議案	小美玉市生涯学習センターコスモスプロジェクト委員の委嘱について
	議案	小美玉市教育委員会職員の任免について
	報告	区域外就学及び指定校変更について

※審議案件のほか、定例会ごとに市内小中学校及び教育委員会事務局各課の状況報告をしています。

### 3 総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育委員会制度が大きく変わり、教育委員長と教育長を一本化した新たな「教育長」の設置とともに、すべての地方公共団体で「総合教育会議」の設置が定められました。

総合教育会議は、市長と教育委員会で構成され、教育行政の大綱の策定、教育の条件整備など重点的に構すべき施策や、児童・生徒の生命・身体の保護など、緊急の場合に講ずべき措置についての協議・調整を行っています。

第1回 小美玉市総合教育会議	
開催日	平成30年8月20日（月）
議題	・ICT環境整備について ・幼児教育の無償化に向けた将来の幼稚園のあり方について
出席者	島田市長，加瀬教育長，澤島教育委員，中村教育委員， 鶴町教育委員，山口教育委員，柴田教育委員
第2回 小美玉市総合教育会議	
開催日	平成30年11月19日（月）
議題	・公立幼稚園の今後の方向性について
出席者	島田市長，加瀬教育長，澤島教育委員，中村教育委員， 鶴町教育委員，山口教育委員，柴田教育委員

#### 4 その他の活動

教育委員は、教育委員会の会議への出席以外に学校訪問、各種行事等にも参加しています。

	活 動 内 容
4月	・ 県費教職員辞令交付式
5月	・ 市町村教育委員会連合会定期総会（水戸市）
6月	・ 学校（園）訪問（小学校 12 校，中学校 4 校，幼稚園 5 園）
8月	・ 総合教育会議
9月	・ 体育祭（中学校 4 校），運動会（小学校 3 校，幼稚園 2 園）
10月	・ 運動会（幼稚園 2 園）・ スポレクデー・ 市町村教育委員会研究会
11月	・ 七つの祝い式典
1月	・ 成人式典
2月	・ 文化講演会
3月	・ 卒業（園）式（小学校 12 校，中学校 4 校，幼稚園 5 園） ・ 県費教職員辞令交付式

### Ⅲ. 教育委員会の点検・評価

#### 1 点検評価の対象

点検評価の対象は、教育委員会の活動状況及び小美玉市教育振興基本計画に掲げた基本方針・施策に位置づけた事業における平成30年度の取組みとしました。

#### 2 点検・評価の方法

##### ① 自己評価

小美玉市教育振興基本計画に掲げた目標指標の進捗状況や主な事業の実施状況及び成果及び課題を記載し、自己評価を行った。

【自己評価基準1】※内部評価報告までの基準

- A 概ね予定通りできた。
- B 課題はあるが、予定通りできた。
- C 予定していた実施内容が50%に満たない程度しかできなかった。また、課題が多く検討が必要。

【自己評価基準2】※外部評価の基準

- A 予定以上にできた。(100%を超える)
- B 予定通りできた。(50%から100%)
- C 予定していた実施内容が50%に満たない程度しかできなかった。

##### ②内部評価報告（平成30年7月22日実施）

小美玉市教育振興基本計画に掲げた目標指標の進捗状況や主な事業の実施状況及び成果及び課題を記載し、自己評価を行ったうえで、その内容について、教育委員に内部評価報告し意見を聴取した。

～教育委員からの主な意見～

- ・この点検・評価シートでは、評価しづらい。別表で達成率があったが評価シート内にあったほうが見やすいのではないか。
- ・評価のつけ方が不明確。指標や数字がなかったり証拠が抜けている。
- ・決算額のところで予算のある事業とない事業があるが、予算がある事業に関して、執行率が大事な評価の観点のポイントになるのではないか。
- ・年間年間の評価なので、1年間に実際にやったこと、できたこと、課題としてチャレンジすることを明確にし、どの課も同じように記載したほうが分かりやすい。

- ・重点事業が B 評価 C 評価ではなく、重点事業なのである程度の成果が見えてこないといけないのではないか。
- ・課題があるのに A 評価とし、課題がないのに B 評価になっていて評価が統一されていない。
- ・人員の配置が少ないとあるが、配置を要望しないとつかないが、どう考えているのか。
- ・C 評価が何項目かあった。事業名を挙がっているのに C 評価にしておくのはどうなのか。

③外部評価（平成30年8月27日，28日実施）

内部評価報告した際に、指摘いただいた事項等の修正行ったうえで、教育委員会の活動状況を併せて報告し意見を聴取した。

小美玉市事務事業点検評価委員

（順不同，敬称略）

氏 名	備 考
元 木 理 寿	常磐大学総合政策学部准教授
藤 田 恵 弘	元公立小学校長
澤 畠 照 子	元公立小学校長・元教育委員

3 小美玉市教育振興基本計画に掲げる施策

小美玉市教育振興基本計画は、「教育基本法」に基づき総合的かつ計画的に教育施策を推進するための基本的な計画であり、本市の最上位計画である「小美玉市第2次総合計画」と整合を図りつつ、本市における教育の基本方針を定め、計画的かつ効率的な教育行政に資することを目的としています。

小美玉市の教育を推進していくために、以下の5つの教育施策の基本方針を掲げています。

- 基本方針1 子供たちの自主性・自立性を培い，自ら学び，たくましく社会を生き抜く力を育みます。
- 基本方針2 確かな学力の定着を図るとともに活用する力を伸ばし，子供たち一人一人の可能性を広げます。
- 基本方針3 地域がもつ特色や実態に合わせたより良い学習環境をつくります。
- 基本方針4 生涯にわたる市民の学びや文化芸術活動を目指した学習環境をつくります。
- 基本方針5 生涯にわたる市民のスポーツ活動の活性化を目指したスポーツ環境をつくります。

## 4 施策体系

基本方針	基本施策（項）	基本方向（節）	主な事業	担当課	頁		
基本方針1 子供たちの自主性・自立性を培い、自ら学び、たくましく社会を生き抜く力を育みます。	1 命を大切に する心の育成	1 道徳教育の充実	道徳教育の推進	指導室	17		
		2 命を大切に する教育の 推進	発達段階に応じた命を大切に する教育の推進	指導室	18		
		3 人権教育 の充実	人権に関する研修	指導室	18		
		4 ボラン ティア活 動の推 進	ボランティア活動の充実	指導室	19		
	2 健やかな 体の育 成	1 学校体 育の充 実	1 学校体育の充実	体育指導の工夫・改善	指導室	20	
				体力の向上	指導室	21	
				運動部活動の充実	指導室	21	
		2 食育指 導と学 校給食 の充 実	2 食育指 導と学 校給食 の充 実	1 献立会 議の開 催	献立会議の開催	学校給食課	22
				2 給食時 の食に 関する 指導	給食時の食に関する指導	学校給食課	22
				3 学級活 動等 での食 に関 する指 導	学級活動等での食に関する指導	学校給食課	23
				4 地場産 品活 用の推 進	地場産品活用の推進	学校給食課	23
				5 郷土料 理・世 界の料 理・行 事食の 実施	郷土料理・世界の料理・行事食の実施	学校給食課	23
		3 学校保 健と健 康教育 の充 実	3 学校保 健と健 康教育 の充 実	1 教員向 けのア レルギ ーに関 する研 修	教員向けのアレルギーに関する研修	指導室	24
				2 各小・ 中 学校 の養護 教諭に よる養 教部 会の開 催	各小・中学校の養護教諭による養教部会の開催	指導室	25
				3 専門医 による 講義	専門医による講義	指導室	25
				4 がん教 育の出 前授業	がん教育の出前授業	指導室	25
	3 社会を 生き抜 く力の 育成	1 自主性 ・自立 性を育 成する 教育の 推進	1 自然教 室	自然教室	指導室	26	
			2 総合的 な学習 の時間 の充実	総合的な学習の時間の充実	指導室	27	
			3 農業体 験の実 施	農業体験の実施	指導室	27	
		2 豊かな 心と想 像力を 育む読 書活動 の推 進	2 豊かな 心と想 像力を 育む読 書活動 の推 進	1 学校司 書配置 事業	学校司書配置事業	指導室	28
				2 学校・ 学級で 取り組 む読書 活動	学校・学級で取り組む読書活動	指導室	28
				3 みんな にすす めたい 一冊の 本事業	みんなにすすめたい一冊の本事業	指導室	28
				3 学校安 全教育 の充 実	学校安全教育の充実	指導室	29
	4 就学前 教育の 充実	1 幼児教 育の充 実	1 集団遊 びを通 した教 育	集団遊びを通した教育	指導室 幼稚園	30 31	
			2 野菜な どの栽 培活動	野菜などの栽培活動	指導室 幼稚園	31 31	
			3 自然や 人との 関わり を重視 した活 動の充 実	自然や人との関わりを重視した活動の充実	指導室 幼稚園	32 32	
			4 幼稚 園計画 訪問	幼稚園計画訪問	指導室	33	
			5 研修会 の実施	研修会の実施	指導室	33	
			6 預かり 保育事 業	預かり保育事業	学校教育課	33	
			7 接続を 意識し たプロ グラム 作成	接続を意識したプログラム作成	指導室	34	
		2 幼保小 連携の 推進	2 幼保小 連携の 推進	1 小学校 低学年 児童等 との交 流活動 の実 施	小学校低学年児童等との交流活動の実施	指導室	34
				2 幼児期 教育接 続推進 のため の研修 会の実 施	幼児期教育接続推進のための研修会の実施	指導室	35
				3 小学校 の授業 参観	小学校の授業参観	指導室 幼稚園	35 35
				4 交流 会	交流会	指導室	36

				幼稚園	36
			幼児教育接続推進	指導室	36
				幼稚園	37
5 次代を担う青少年の健全育成	1 地域における青少年育成体制の整備促進	社会教育団体への支援	生涯学習課	38	
		子ども会育成団体への支援	生涯学習課	39	
		各地域の青少年健全育成団体への支援	生涯学習課	39	
		七つの祝い式典	生涯学習課	39	
		成人式典	生涯学習課	40	
		連携・協力体制の整備促進	生涯学習課	40	
		「青少年の健全育成に協力する店」の登録促進	生涯学習課	40	
	2 青少年の体験活動の推進	子ども議会	生涯学習課	41	
		ジュニアリーダー研修会	生涯学習課	41	
		こどもまつり	生涯学習課	42	
	3 青少年の居場所づくり	放課後子どもプラン	学校教育課	42	
		市内及び特別巡回パトロール	生涯学習課	43	
	4 家庭における教育力の向上	家庭教育学級の実施	生涯学習課	43	
		家庭教育学級の内容の充実	生涯学習課	44	
		マナーアップ 朝のあいさつ運動	幼稚園	44	
		地域の子供たちへの安全配慮	幼稚園	45	
		規範意識の醸成と基本的な生活習慣の定着	指導室	45	

基本方針	基本施策（項）	基本方向（節）	主な事業	担当課	頁	
基本方針2 確かな学力の定着を図るとともに活用する力を伸ばし、子供たち一人一人の可能性を広げます。	1 確かな学力の定着	1 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と活用する力の育成	全国学力・学習状況調査	指導室	46	
			茨城県学力診断のためのテスト	指導室	47	
			ティーム・ティーチングによる指導	指導室	47	
			習熟度別指導	指導室	47	
		2 言語活動の充実	学校訪問指導	指導室	48	
	2 新たなニーズに対応した教育の推進	1 新しい時代に必要となる資質・能力の育成	—	—	—	—
			2 特色ある教育の推進	地域資源を活用した自然体験学習の充実	指導室	50
		ALT 配置事業		指導室	50	
		国際交流		指導室	50	
		学びの広場サポート事業（小学校 算数）		指導室	51	
		学びの広場サポート事業（中学校 算数）		指導室	51	
		地域資源を活用した体験学習の充実	指導室	52		
	3 キャリア教育の充実	1 系統的なキャリア教育の推進	職場見学・職場体験の実施	指導室	53	
			いばらきものづくり教育フェアへの参加	指導室	54	
	4 情報活用能力を育てる教育の充実	1 ICT教育の推進	パソコン教室情報教育機器の整備・充実	学校教育課	55	
			電子黒板等の外部機器の整備・充実	学校教育課	56	
			デジタル教科書等の授業用コンテンツの整備・充実	学校教育課	56	
			情報教育支援機器の整備・充実	学校教育課	57	
			学校 ICT 教育環境整備の推進	学校教育課	57	
	5 インクルーシブ教育の充実	1 特別支援教育の充実	生活介助員の配置	学校教育課	58	
			障がいに応じた特別支援学級の設置	指導室	59	
			特別支援教育に関わる教職員の研修等の実施	学校教育課	59	
			一貫した教育的支援	指導室	59	
			特別支援教育理解啓発リーフレットの配布	指導室	60	
			スクールソーシャルワーカー配置事業	指導室	60	
		2 ユニバーサルデザインによる教育の推進	授業のユニバーサルデザイン化	指導室	61	
			わかりやすい掲示，見本の活用	指導室	61	
幼稚園				61		

基本方針	基本施策（項）	基本方向（節）	主な事業	担当課	頁
基本方針3 地域がもつ特色や実態に合わせたより良い学習環境をつくりまします。	1 小中一貫教育の推進と学校の適正規模・適正配置	1 地域の実態に合わせた小中一貫教育の推進	小中連携・小小連携プロジェクト会議	指導室	62
		2 学校の適正規模・適正配置	学校再編後のスクールバス運行	学校教育課 施設整備課	63
			統合校建設事業	施設整備課	63
	2 教職員の業務の質を高めるための支援やサポート体制の充実	1 教職員の資質能力の向上	校外研修	指導室	64
			校内研修	指導室	64
		2 学校の組織力の強化と教職員サポート体制の充実	ストレスチェックの実施	学校教育課	65
			校務支援システム操作研修会	指導室	65
	3 安全・安心で、地域とつながる教育施設整備の推進	1 教育施設整備の推進	長寿化計画の作成	施設整備課	66
			センターの統合事業	学校給食課	67
		2 学校安全対策の推進	通学路合同点検	学校教育課	67
			避難訓練・引渡し訓練	指導室	68
	4 いじめや不登校等、児童生徒のためのサポート体制の充実	1 教育相談体制の充実・強化	教育相談体制の確立	指導室	69
			教育支援体制の確立	指導室	70
		2 学習機会の確保	就学援助（要保護・準要保護）	学校教育課	70
			特別支援教育就学奨励費	学校教育課	71
			学校支援ボランティア活用事業	指導室	72
	5 地域に開かれた学校の推進	1 地域の学校支援体制の充実・強化	コミュニティ・スクール導入等促進事業	指導室	73

基本方針	基本施策（項）	基本方向（節）	主な事業	担当課	頁		
基本方針4 生涯にわたる市民の学びや文化芸術活動を目指した学習環境をつくります。	1 生涯学習社会の実現	1 生涯学習活動の推進	学習情報を得る機会の充実	生涯学習課	74		
			学習相談体制の充実	生涯学習課	75		
			市民講座等の内容充実	生涯学習課	75		
			障がい者に関する学習機会の充実	生涯学習課	75		
			自主講座団体育成	生涯学習課	76		
			出前講座	生涯学習課	76		
			老人クラブへの支援	生涯学習課	76		
			市民への学習情報の提供	生涯学習課	77		
		2 学習機会の充実	親子体験講座[親子移動教室]	生涯学習課	77		
			特別講座	生涯学習課	78		
			ふれあい講座[わんぱく教室]	生涯学習課	78		
			高齢者大学	生涯学習課	78		
			ふれあい事業[自然観察教室]	生涯学習課	79		
			市民講座[定期]	生涯学習課	79		
			市民講座[短期]	生涯学習課	79		
		3 学習成果の活用	人材バンクの登録	生涯学習課	80		
			作品展の開催	生涯学習課	80		
		4 各種団体の活動支援と指導者の育成	生涯学習活動関連機関・団体等との連絡体制の構築・強化	生涯学習課	81		
			指導者の育成	生涯学習課	81		
			社会教育主事，社会教育指導員の活用	生涯学習課	82		
		5 学習環境の整備・充実	施設・設備の充実	生涯学習課	82		
	生涯学習施設の管理運営		生涯学習課	83			
	施設利用に関する情報の提供		生涯学習課	83			
	掲示物の収集及び設置		生涯学習課	83			
	2 知識の醸成と価値創造の場の充実	1 読書活動の推進	図書館講座	生涯学習課	84		
			図書館まつり	生涯学習課	84		
			おはなし会	生涯学習課	85		
			ブックスタート	生涯学習課	85		
		2 図書館サービスの充実	図書館リクエスト	生涯学習課	86		
			レファレンスサービス	生涯学習課	86		
			相互貸借サービス	生涯学習課	86		
			移動図書館サービス	生涯学習課	87		
			ブックスタートボランティアの育成	生涯学習課	87		
			読み聞かせ講座	生涯学習課	87		
			図書館ボランティアの育成	生涯学習課	88		
			図書館資料の適切な管理	生涯学習課	88		
			郷土資料のデジタル化	生涯学習課	88		
			施設の整備	生涯学習課	89		
			3 文化芸術の創造・発信	1 文化芸術活動の充実	住民劇団・住民楽団の支援	生涯学習課	90
					指導者の育成・情報提供	生涯学習課	91
				2 文化財の保護と史・資料館の充実	文化財の適正な保存・活用	生涯学習課	91
收藏施設の確保					生涯学習課	92	
常設展示リニューアル事業					生涯学習課	92	
特別展・企画展等の開催					生涯学習課	92	

			教育普及事業の実施	生涯学習課	93
			史料館報の刊行	生涯学習課	93
			埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行	生涯学習課	93
			出土品展の開催	生涯学習課	94
			郷土芸能保存会への支援	生涯学習課	94
			民俗文化財保護活動への支援	生涯学習課	94
		3 市民の文化芸術に触れる機会の充実	育成事業	生涯学習課	95
			コスモスプロジェクト	生涯学習課	95
			文化講演会	生涯学習課	96
			サポーター事業	生涯学習課	96
			小美玉市まるごと文化ホール計画推進事業	生涯学習課	96
			広報戦略事業	生涯学習課	97

基本方針	基本施策（項）	基本方向（節）	主な事業	担当課	頁	
基本方針5 生涯にわたる市民のスポーツ活動の活性化を目指したスポーツ環境をつくりまします。	1 子供のスポーツ機会の充実	1 幼児期における運動・スポーツ機会の充実	スポーツ教室（水泳教室・親子スキー教室等）	スポーツ推進課	98	
			プレ・すぼ〜つ教室	スポーツ推進課	98	
			夢先生派遣事業	スポーツ推進課	99	
		2 子供を取り巻くスポーツ環境の充実	統合型地域スポーツクラブ活動支援	スポーツ推進課	99	
				スポーツ少年団活動支援	スポーツ推進課	100
	2 生涯スポーツ活動の推進	1 若者・働く世代に対する運動・スポーツの推進	働く世代を対象としたスポーツ教室	スポーツ推進課	101	
			高齢者大学（スポーツ）	生涯学習課	102	
		3 障がい者に対する運動・スポーツの推進	障がい者スポーツ・レクリエーション教室（地域生活支援事業）	社会福祉課 スポーツ推進課	102	
			障がい者スポーツ体験イベント	スポーツ推進課	103	
		4 スポーツ活動情報等の提供	LINE を利用した情報発信	スポーツ推進課	103	
			小美玉スポーツ新聞を利用した情報発信	スポーツ推進課	104	
			転入者へ LINE 勧誘チラシの配布	スポーツ推進課	104	
		3 スポーツ環境の充実	1 スポーツ活動を支援する体制の整備	体育協会支援	スポーツ推進課	105
				スポーツ少年団支援	スポーツ推進課	105
				スポーツ推進委員活動	スポーツ推進課	106
	スポーツ団体等指導者の育成			スポーツ推進課	106	
	総合型スポーツクラブの利用促進			スポーツ推進課	107	
	2 特色あるスポーツ施策の推進		スポーツ優秀選手・優秀団体表彰	スポーツ推進課	107	
			地域特性を生かしたスポーツ活動	スポーツ推進課	108	
	3 多様なスポーツ交流の推進		トップアスリートスポーツ教室	スポーツ推進課	108	
			スポーツ・レクリエーション・イベント等の開催	スポーツ推進課	109	
	4 スポーツ施設の充実		1 スポーツ施設環境の充実	スポーツ施設維持管理	スポーツ推進課	110
		スポーツ施設等の設備更新・整備		スポーツ推進課	111	

## 5 施策の実施状況

**基本方針1 子供たちの自主性・自立性を培い、自ら学び、たくましく社会を生き抜く力を育みます**

### 【基本施策1】命を大切に作る心の育成

命を大切に作る心や他者を思いやる心を育み、自らも地域社会の一員であることの自覚を促します。そのために、学校教育活動全体を通じて人権教育や道徳教育の充実に努めるとともに、命を大切に作る教育を推進します。また、ボランティア活動を通して多くの人との交流を図ります。

### 基本方向1 道徳教育の充実

○「特別の教科 道徳」（道徳科）の授業の充実に図り、「考える道徳」、「議論する道徳」へと転換を図ることにより、児童生徒の道徳性を育みます。

○学校の教育活動全体を通じて、各学校の道徳教育推進教師を中心に道徳教育を進めます。

目標指標	自尊感情の状況					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
小学生 79.4%	小学生 82.3%	小学生 85.3%				小学生 85.0%
中学生 65.6%	中学生 69.7%	中学生 78.2%				中学生 70.0%

### ①「道徳の教科 道徳」の質の向上

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
道徳教育の推進★	「考える道徳」、「議論する道徳」への転換のために、研修会等を実施する。道徳性の育成に資する体験活動を推進する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-1-1	実施状況・成果	小美玉市教研道徳教育研究部では、6月、8月、2月の年3回研修会を行った。小学校では、今年度から完全教科化されたので、「考え、議論する」授業の展開について考えを深めるとともに、一人一人のよさを認め、励ます個人内評価の在り方を学ぶことができた。			
P.46	課題	「読み物道徳」から「考える道徳」への質的転換を、さらに図っていく必要がある。				

### 基本方向2 命を大切に作る教育の推進

○児童生徒が生や死の意味について真剣に考え、命はかけがいのないものであることや人生が一度しかないことについて理解し、命の大切さや生きる喜びを実感としてとらえる機会の充実に図ります。

○思春期という感受性豊かな時期に、母子との交流体験を通して生命の尊さを実感し、育児について理解と関心を高める機会の充実に図ります。

### ①命を大切にする教育の充実

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
発達段階に 応じた命を 大切にする 教育の推進	各学年の道徳の時間を中心とした教科のなかで「命」の大切さについて指導していく。					
	実施状況・成果・課題					
	1-1-2	実施状況・ 成果	道徳の授業では、「命」に関わる問題を、自分の事として捉え、自己を見つめ、多面的・多角的に考える授業を行ってきたことで、「命」の大切さをさらに考えることができた。			
P.47	課題	薬物乱用防止教室や情報モラル教育とも関連付けて、「命」を大切にする教育の推進を図る。				

### 基本方向3 人権教育の充実

- 児童生徒が、自分の大切さとともに他の大切さを認めることができるよう、道徳の時間や学校生活のなかで指導していきます。
- 性別に関わらず、将来を見通した自己形成を行い、個性と能力を発揮できるよう、個人の尊厳や男女平等に関する教育に努めます。
- 指導者である教員の人権感覚・人権意識を高めるための研修を行い、指導力の向上を目指します。

目標指標	人権教育に関する校内研修会の実施回数					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
1回	2回	2回				3回

### ①学校教育における人権教育の推進

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
人権に関する 研修	各学校で人権に関する校内研修を行う。					
	実施状況・成果・課題					
	1-1-3	実施状況・ 成果	人権尊重の理念の基礎・基本の理解を図る研修に各校で取り組んだ。特に、教職員の人権感覚・人権意識の醸成を図る研修を中心に行った。			
P.48	課題					

#### 基本方向4 ボランティア活動の推進

- 児童生徒が社会における自身の役割を自覚し、互いに支え合う社会の仕組みや社会のために役立つことを実感できるように、学校教育活動におけるボランティア活動を推進します。
- 家庭や地域社会と連携して、ボランティア活動など、児童生徒の地域行事への参加を促進します。

目標指標	ボランティア活動への参加状況					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
小学生 62.8%	小学生 66.1%	小学生 69.8%				小学生 65.0%
中学生 68.1%	中学生 68.8%	中学生 71.6%				中学生 70.0%

#### ①学校・家庭・地域社会が連携したボランティア活動の推進

担当課	指導室	予算額	380千円	平成30年度の評価	A
		決算(見込)額	226千円		
事業名	事業の概要				
ボランティア活動の充実	学校教育活動におけるボランティア活動の充実を図る。				
	実施状況・成果・課題				
	1-1-4	実施状況・成果	全国学力・学習状況調査において、「地域社会などでボランティアに参加したことがある」と回答した児童は、対国2.1%、対県2.4%高く、多くの生徒がボランティア活動への参加意識をもっていることが分かる。学校全体や生徒会活動などさまざまな場面でボランティア活動を意識的に組み入れていることによる成果である。		
P.49	課題	児童生徒の自主的・自立的な活動になるような支援が必要である。			

**基本方針1 子供たちの自主性・自立性を培い、自ら学び、たくましく社会を生き抜く力を育みます**

**【基本施策2】健やかな体の育成**

学校体育の充実に努め、バランスの良い学校給食の提供や食育指導を実施し、児童生徒の健やかな体を育成するとともに、学校保健と健康教育の充実により、心身の健康の保持増進を図ります。

**基本方向1 学校体育の充実**

○ 心と体の一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、授業のなかで運動の楽しさや喜びを体験することにより、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てます。

○ 体育の授業や運動部活動を通して日常的な運動やスポーツ活動を行うことで、児童生徒の体力向上を図ります。

○ 運動部活動の指導にあたっては、生徒の健康維持や休養、家庭学習時間のあり方等とのバランスの取れた活動となるよう配慮していきます。また、指導者の役割が重要であることから、地域の人材の充実に努めます。

目標指標		体力テストにおける段階別総合評価				
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
小学生 59.1%	小学生 65.0%	小学生 65.0%				小学生 65.0%
中学生 60.1%	中学生 65.0%	中学生 65.0%				中学生 65.0%

**①体育・スポーツ活動の充実と体力の向上**

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
体育指導の工夫・改善	年間を通して児童生徒が適切に運動ができるよう、学習内容を工夫・明確化した年間指導計画の作成及び修正。					
	実施状況・成果・課題					
	1-2-1	実施状況・成果	学習指導要領の趣旨を踏まえ、9年間の見通しをもった年間指導計画の作成・実施・評価・改善を行うことができた。			
P.51	課題	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けて、保育園並びに幼稚園及び高等学校との接続を重視し、系統性を踏まえた指導内容の一層の充実に努める必要がある。				

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
体力の向上	体力テストの結果の活用と学校の特色を生かした体力づくりの実践。					
	実施状況・成果・課題					
	1-2-1	実施状況・成果	子供の体力の状況を把握・分析することにより、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てた。各学校で「体力アップ推進プラン」を策定し、プランに基づいた実践を行うことができた。			
P.51	課題	小学校では、投げる力に課題があり、投力アッププランの工夫が必要である。				

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
運動部活動の充実	地域の人材と学校が連携・協働した運動部活動の指導体制の充実。生徒のバランスのとれた生活や成長に配慮するとともに、スポーツ障害を予防するため、適切な練習時間と休養日（週2日以上）を設定。					
	実施状況・成果・課題					
	1-2-1	実施状況・成果	「小美玉市運動部活動の在り方に関する活動方針」を策定した。学校は、生徒のバランスのとれた心身の成長と豊かな学校生活を送ることができるよう、適正な時間管理の下、合理的でかつ効率的・効果的な運動部活動の運営及び指導に係る体制構築に努めた。			
P.51	課題	運動部活動指導員の導入及び活用が今後の課題である。				

## 基本方向2 食育指導と学校給食の充実

○ 児童生徒の発達段階に応じて、食に関する知識や食を選択する能力等を総合的に身につけることができるよう継続的に指導し、学校教育全体で推進・充実を図っていきます。

○ 子供の頃からの望ましい食習慣をはじめとした健康づくり活動を推進します。また、「早寝早起き朝ごはん」運動の推進を通じて生活リズムの重要性を啓発し、正しい知識に基づいて、自ら判断できる食の自己管理能力を育成します。

目標指標	学校給食で使用する地場製品の割合					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
55%	59%	54%				56%

①小・中学校の食育の推進と学校給食の充実

担当課	学校給食課	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
献立会議の 開催	給食センター職員と各幼・小・中学校の給食主任による学校給食の献立や食物アレルギー、学校給食の衛生等について検討する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-2-2	実施状況・ 成果	年3回実施（5/30, 9/25, 2/19） ・学校給食に関するアンケート調査の結果報告 ・栄養教諭による食育指導等の説明 ・食物アレルギー対応マニュアルについての説明確認 ・管理栄養士による衛生管理の指導等 各幼小中の給食の状況確認や情報交換ができる良い機会である。			
	課題	各幼小中の担当が変わるので、特に食物アレルギー対応や配膳室の衛生管理等については、毎回説明し対応協議していく必要がある。				

担当課	学校給食課	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
給食時の食 に関する指 導	栄養教諭・管理栄養士による給食時の食に関する指導を実施する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-2-2	実施状況・ 成果	毎日の給食時の放送や、学級担任が給食時に利用できる指導資料を作成して各小中学校に配布。栄養教諭は所属校や指導担当校において給食時の食に関する指導を実施した。食に関するアンケート調査の結果より地場産物に対する理解や、考えて食べることの大切さなどについて理解が深まったとする児童生徒が増加した。給食時309回			
	課題	成長期の児童生徒への食育は、栄養バランスのよい食事の基本を学ぶとともに献立等の工夫により各教科等における食に関する指導と関連づけることが必要となるので、今後も教材となる学校給食の献立を作成し給食時間を有効に活用して食に関する指導を継続していく。				

担当課	学校給食課	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
学級活動等 での食に関 する指導	栄養教諭による学級活動を中心とした授業での食に関する指導を実施する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-2-2	実施状況・ 成果	所属校及び指導担当校の全学級で、学級活動を中心に発達段階に応じた食に関する授業を実施した。栄養バランスのよい食べ方やおやつのとおり方、朝食の大切さ、よくかんで食べることの大切さなど食に関する理解が深まり食習慣の改善に役立った。食に関するアンケート調査の結果より朝食喫食率、残さず食べる児童生徒の増加など食習慣の改善がみられた。授業140回 市内全小中学校の全学年で実施			
	課題	今後も望ましい食習慣の形成や食に関する理解を深め、生涯にわたる健康を支える実践力を身につけることができるよう、学級活動等における食に関する指導を継続していく。				

担当課	学校給食課	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
地場産品活 用の推進★	地域の産物を学校給食に活用し、地域の食文化や地域の食料生産、流通、消費等給食の時間等における食に関する指導をする。					
	実施状況・成果・課題					
	1-2-2	実施状況・ 成果	食材数で54%（小美玉産21% 茨城県産32%）農政課と連携して認定農業者に食材を提供してもらい地産地消の日として実施し、「給食だより」「たべもの教室」で紹介した。 米飯については、小美玉市産こしひかりを使用しセンターで炊飯、月1回ずつ地場産の発酵乳、食べるヨーグルトを提供している。			
	課題	地場産農産物については、必要な量の確保がむずかしいので食材が限られてしまう。年度によって数値にばらつきがでてしまうが、なるべく多くの地場産物を給食に取り入れられるよう献立などの工夫も必要かと思われる。				

担当課	学校給食課	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
郷土料理・ 世界の料 理・行事食 の実施	学校給食で日本や世界の料理、行事食等を提供し、給食の時間等における食に関する指導をする。					
	実施状況・成果・課題					
	1-2-2	実施状況・ 成果	行事食や世界の料理、郷土料理のメニューを月1回ずつ実施して「たべもの教室」で紹介した。 行事の由来や、外国の料理の紹介、ならわしやその郷土の食材、旬の食材等を紹介できた。			
	課題	世界の料理については、その国の料理からかけはなれたものになったりすることもあるので、検討が必要かと思われる。				

担当課	学校給食課	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
夏休み中学生料理教室の開催	管理栄養士のもと食生活改善推進員の協力により、中学生を対象に食事作りの実習を通して、食生活を見直し食事に関心をもってもらえるよう指導する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-2-2	実施状況・成果	夏季休業中に中学生を対象に実施 市内4中学校 107名参加 食生活改善推進員と給食センター管理栄養士、栄養教諭が連携して生徒に食事作りを通して食事に関心をもってもらう機会を提供している。毎年実施			
		課題	子どもたちに興味をもってもらえるような実習を考えていきたい。			

### 基本方向3 学校保健と健康教育の充実

- 心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、健康の保持増進を図り、生涯にわたり健康で楽しく明るい生活を営む態度や能力の育成を図ります。
- 児童生徒の健康の保持増進を図り、疾病予防や望ましい生活習慣の確立など健康教育の充実を図ります。

目標指標	歯と口の健康に関する事業の実施状況					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
2.4項目 (各幼・小・中平均)	3項目	3項目				3項目

#### ①学校保健の充実

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
教員向けのアレルギーに関する研修	食物アレルギーをもつ児童に対する対処法についての研修を実施する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-2-3	実施状況・成果	該当児童・生徒についての情報の共有を全職員で行った。また、食物アレルギーについて、事例をもとにした研修や発生時の対処法、連絡体制等について研修を行った。			
		課題	児童・生徒の生命に関わることであり、今後も計画的・継続的に研修を実施していく必要がある。			



**基本方針1 子供たちの自主性・自立性を培い、自ら学び、たくましく社会を生き抜く力を育みます**

**【基本施策3】社会を生き抜く力の育成**

児童生徒の自主性・自立性を育成する教育や、人や自然との関わりを深める体験活動、夢や想像力を育む読書活動を推進し、社会を生き抜く力を育成します。また、自らの身の安全を守るための危機管理能力の育成に努めます。

**基本方向1 自主性・自立性を育成する教育の推進**

- 宿泊体験活動を通して、子供たちの自主性・自立性など人間として生きていく上での基礎力を育みます。
- 多様な体験活動を通して、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの生きる力の基礎を作っていきます。
- 親子、地域の人たちとの関わりや地域の自然との関わりを深める体験活動の機会を通して、子供たちの社会性や生きる力を育成します。

目標指標							自然教室のアンケート結果						
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
100%	100%	100%				100%							

**①多様な体験活動の推進**

担当課	指導室	予算額	5,685千円	平成30年度の評価	A
		決算（見込）額	4,221千円		
事業名		事業の概要			
自然教室★	県外2泊3日の宿泊学習（小学校5年生対象）を通して、豊かな体験活動を推進する。				
	実施状況・成果・課題				
	1-3-1 P.54	実施状況・成果	国立赤城青少年交流の家において2泊3日の宿泊学習を実施した。人や自然とのふれあいを通し、児童一人一人の自主性・自立性を育むことができた。		
		課題			

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
総合的な学習の時間の充実  1-3-1  P.54	地域の自然や人材を活用した体験活動を推進する。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・成果	各学校において、総合的な学習の時間で社会奉仕体験や自然体験等に取り組んだ。児童生徒は、地域の自然や人々と触れ合うことで様々な視点で小美玉市を見ることができた。				
	課題	今後、地域教材や人材を一つにまとめ、活用できるシステムの構築が課題である。				

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
農業体験の実施  1-3-1  P.54	米や野菜づくりなどを通して、地域の人たちや自然との関わりを推進する。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・成果	小中学校の学習活動の中で、水稻、野菜の栽培などの農業体験の機会を設け、自然とふれあい、収穫の喜びを味わう農業体験学習を実施している。地域の人たちや自然との関わりが育まれた。				
	課題					

### 基本方向2 豊かな心と想像力を育む読書活動の推進

- 学校図書館においては、児童生徒の読書活動や読書指導の場としての「読書センター」及び情報の収集・選択や活用能力の育成、学習活動を支援する「学習・情報センター」とし機能の拡充を図ります。
- 児童生徒が豊かな感性と創造力を育むとともに、自己を見つめ自らの生き方を考えることができるよう読書活動を推進します。

目標指標	学校司書の配置状況					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
0%	0%	0%				100%

①学校図書館の「読書センター」及び「学習・情報センター」としての機能拡充

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	C
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
学校司書配置事業★	国の「学校図書館図書整備等5か年計画」をもとに、「読む・調べる」に対応できる学校司書の配置を積極的に進める。					
	実施状況・成果・課題					
	1-3-2	実施状況・成果	市内各小中学校に、学校司書は配置されていない。			
P.55	課題	国の「学校図書館図書整備等5か年計画」をもとに、学校司書の配置を進めていく必要がある。"				

②読書活動の推進

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
学校・学級 で取り組む 読書活動	学校・学級において、計画や目標をともなった読書推進活動を展開する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-3-2	実施状況・成果	各学校において、朝読書を取り入れたり、授業との関連を図った読書指導を行ったりして、読書活動を推進している。			
P.55	課題	学校図書館を計画的に利用し、課題解決のために必要な本や資料などを選ぶことができるようにするための指導を取り入れていく。				

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
みんなにす すすめたい一 冊の本事業	茨城県の読書活動推進事業に参加し、児童生徒一人一人の読書活動の質的、量的な充実を図る。					
	実施状況・成果・課題					
	1-3-2	実施状況・成果	各学校において、朝読書を取り入れたり、授業との関連を図った読書指導を行ったりして、読書活動を推進している。			
P.55	課題	学校図書館を計画的に利用し、課題解決のために必要な本や資料などを選ぶことができるようにするための指導を取り入れていく。				

### 基本方向3 危機管理能力の育成

○ 健康・安全で活力ある生活を送るため、児童生徒の発達段階を考慮しながら、生活安全や交通安全とも関連させ、危機管理能力を育成します。

○ 学校における児童生徒の安全を確保するため、家庭や地域と連携し緊急時の連絡体制や登下校時の見守りなど学校の危機管理体制の強化に努めます。

目標指標	家庭や地域と連携した防災訓練の実施率					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
100%	100%	100%				100%

#### ①学校安全教育の充実

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年度の評価	B	
		決算（見込）額	—	千円			
事業名	事業の概要						
学校安全教育の充実	家庭や地域と連携した交通安全教室の実施や学校安全マップの作成など、学校安全教育の充実を図る。						
	実施状況・成果・課題						
	1-3-3 P.56	実施状況・成果	石岡警察署交通課と連携した交通安全教室を実施することができた。				
		課題	全ての小中学校で作成している学校安全マップの見直しを家庭や地域と連携し行う必要がある。				

**基本方針1 子供たちの自主性・自立性を培い、自ら学び、たくましく社会を生き抜く力を育みます**

**【基本施策4】就学前教育の充実**

公立や私立の幼稚園，認定こども園，保育園との交流・連携を深め，幼児教育の充実を図ります。また，幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図るため，幼保小の連携を推進します。

**基本方向1 幼児教育の充実**

○ 幼児の基本的な生活習慣の形成を図るとともに，人との関わりのなかで他者の存在に気づき，相手を尊重する気持ちをもった行動やきまりを守る必要性など道徳教育の充実に努める。

○ 地域の豊かな自然環境や地域住民等との関わりを深め，家庭や地域との連携による幼児教育を推進します。

○ 幼児期の発達の特性に配慮した指導計画の改善充実を図ります。

○ 核家族化や保護者の就労形態の多様化等，社会の変化にともなうニーズに対応した子育て支援の充実を図ります。

目標指標	集団遊びの年間計画の作成率					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
100%	100%	100%				100%

**①幼稚園における「道徳性の芽生え」を担う体験の充実**

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名		事業の概要				
集団遊びを通じた教育	幼児が落ち着いて過ごし自由に自分を表現できる環境の下で，他者と関わって物事を進めていく体験を推進する。そのなかで，自他の行動の意味を理解し，きまりを守らなければならないことを気付かせる。					
	実施状況・成果・課題					
	1-4-1 P57	実施状況・成果	「幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿」を踏まえ，幼児期の自発的な集団遊びの中で育まれたやりぬく力や協調性などの「非認知的能力」を小学校以降の学びにつなげていくようにしている。			
	課題	保育士の数を確保し，より目の行き届いた指導で，幼児の学びを捉えていった。				

担当課	幼稚園	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
集団遊びを通じた教育	幼児が落ち着いて過ごし自由に自分を表現できる環境の下で、他者と関わって物事を進めていく体験を推進する。そのなかで、自他の行動の意味を理解し、きまりを守らなければならないことを気付かせる。					
	実施状況・成果・課題					
	1-4-1 P57	実施状況・成果	日々の保育活動や発表する場などの経験を通し、集団の中での自分の役割、他者との関わり方、考えを伝え合う場を設定してきた。 幼児の興味関心や発達の様子を職員間で共有し、実態に即した援助等を工夫してきたことで子どもたちの成長がみられた。			
	課題	小規模園での集団活動等				

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
野菜などの栽培活動	野菜に親しみ、水かけや草とり等世話をするなかで生命あるものへの感性やいたわる気持ちなど豊かな心を育成する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-4-1 P57	実施状況・成果	体験を通して、植物の生長や収穫の喜びを味わうことができている。身近な野菜等への親しみを感じたり、自然との関わりが育まれたりしている。			
	課題	継続して野菜などの栽培活動を行っていく。				

担当課	幼稚園	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
野菜などの栽培活動	野菜に親しみ、水かけや草とり等世話をするなかで生命あるものへの感性やいたわる気持ちなど豊かな心を育成する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-4-1 P57	実施状況・成果	各園とも野菜作りをとおして感動体験をすることができ、感謝をする気持ちが育まれた。 小動物を飼育することで、生き物には命があることを理解し大切にすることが育まれている。			
	課題	栽培した野菜の有効活用と、職員の専門的知識				

## ②園外活動の充実

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
自然や人との関わりを重視した活動の充実★	園内での保育・学習活動のほか、園外活動による自然散策や社会科見学等を積極的に取り入れ、地域の豊かな自然環境下での体験活動や、地域住民等との交流活動の推進を図る。					
	実施状況・成果・課題					
	1-4-1 P58	実施状況・成果	市内各種ボランティア団体（スポーツ教室、お話し会、誕生日会等）をゲストティーチャーに迎え、協力を得ながら交流活動を行っている。			
	課題	緑あふれる園内環境を生かし、計画的な栽培、収穫体験活動を実施する中で、植物の生長と収穫の喜びをさらに味わわせていく必要がある。				

担当課	幼稚園	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
自然や人との関わりを重視した活動の充実★	園内での保育・学習活動のほか、園外活動による自然散策や社会科見学等を積極的に取り入れ、地域の豊かな自然環境下での体験活動や、地域住民等との交流活動の推進を図る。					
	実施状況・成果・課題					
	1-4-1 P58	実施状況・成果	地域のボランティア団体や高齢者との交流会の実施 地域の伝統行事や地区コミュニティ行事への参加 地元の工場見学や園外保育（ハイキング、くだもの狩り等） ○地域の良さや働く人への感謝の気持ちを持つことができた。			
	課題	園周辺の環境整備（歩道等）				

### ③幼児教育研修の充実

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
幼稚園計画 訪問	幼稚園への訪問指導により、教育課程実施状況を把握し、園の課題解決に向けた研修を行うことで、幼児教育の質の向上を図る。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・ 成果	秋に幼稚園計画訪問指導を5園で実施し、教育課程実施状況を把握し、園の課題解決に向けた研修を行うとともに、小学校への円滑な接続について、話し合いをもつことができた。				
1-4-1						
P58	課題	各園の取組の成果と課題を共有し、今後の園活動の充実に向けて、適切な助言ができるようにしたい。				

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
研修会の実施	市立幼稚園教師対象の研修会を実施し、各幼稚園の抱える課題等の解決に役立てる。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・ 成果	幼稚園の連携だけではなく、小学校教員と保育者が積極的に授業・保育公開を行い、「互いを知る」、「共有する」、「つなげる」という流れを作っている。				
1-4-1						
P58	課題	保幼小連携・接続に関する研修を、計画的に行っていく。				

### ④預かり保育の充実

担当課	学校教育課	予算額	881	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	916	千円		
事業名	事業の概要					
預かり保育 事業★	保護者の就労等により留守となる家庭の園児について、教育時間の前後、さらに夏季休業日等において保育を行う。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・ 成果	子育て支援を担えるよう、保護者のニーズに沿った預かり保育を実施した。 （利用園児数・年間） 元気っ子幼稚園（早朝、延長、休業日等）延べ374名 玉里幼稚園（早朝、延長、休業日等）延べ212名				
1-4-1						
P58	課題	保育内容の充実や安全面のさらなる配慮を継続していく。				

## 基本方向2 幼保小連携の推進

○ 公立の小学校・幼稚園及び、私立の幼稚園，認定こども園，保育園相互の交流・連携を深め，就学前教育の充実を図るとともに，発達や学びの連続性を確保するため，幼児教育と小学校教育との円滑な接続を推進します。

○ 幼稚園教育の充実を図りながら，幼児と「ものとの関わり」，「人との関わり」を豊かにするための工夫に努めます。また，「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を幼稚園・小学校で共有し，小学校教育につないでいくことができるよう努めます。

目標指標	幼保小のステップ値					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
ステップ2	ステップ2	ステップ2				ステップ3

### ①幼児教育と小学校教育との円滑な接続

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名		事業の概要				
接続を意識したプログラム作成★	接続を意識した幼児教育施設におけるアプローチカリキュラム，小学校におけるスタートカリキュラムを作成し，幼児教育と小学校教育との円滑な接続を推進する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-4-2	実施状況・成果	「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を踏まえた幼児教育におけるアプローチカリキュラムと小学校入学時のスタートカリキュラムにより，子どもたちの「学び」をつなぐようにしている。			
P.59	課題	これまでに各園・校で作成できているものを交流し，自園・校化できるようにしていきたい。				

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名		事業の概要				
小学校低学年児童等との交流活動の実施★	園外活動の一環として，園児が将来的に入学を予定する小学校を訪問し，学校内見学のほか，訪問校の低学年との交流を図る。					
	実施状況・成果・課題					
	1-4-2	実施状況・成果	園児が，園外活動の一環として，小学校を訪問し，学校内を見学するほか，訪問校の低学年生と遊ぶなどの交流を図っている。			
P.59	課題	負担なく交流活動の回数を増やしていく。				

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
幼児期教育 接続推進の ための研修 会の実施★	公立校・園及び、私立園による就学前幼保小連携研修会を開催するとともに、情報交換や共通認識に向けた交流・連携の推進を図る。					
	実施状況・成果・課題					
	1-4-2 P.59	実施状況・ 成果	公立小学校・園及び、私立園による保幼小連携研修会を開催し、保幼小で共通のテーマを設定したり、接続に関する活動の在り方を検討したりするなど、交流・連携の推進を図ってきた。			
		課題	預かり保育などもあり、なかなか研修会を設定できない現状がある。			

## ②幼児教育と小学校教育の連携の推進

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
小学校の授 業参観	幼保関係者が小学校教育を理解するため、小学校で行なわれるフリー参観などへの参加を推進する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-4-2 P.59	実施状況・ 成果	幼児教育施設関係者は、小学校において、子どもたちの様子を通して環境構成、授業の様子及び幼児期に育まれた力がどのように生かされているかなどを参観している。			
		課題	幼児を預かっている時間に参観することは難しいが、できるだけ小学校の参観を増やしていきたい。			

担当課	幼稚園	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
小学校の授 業参観	幼保関係者が小学校教育を理解するため、小学校で行なわれるフリー参観などへの参加を推進する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-4-2 P.59	実施状況・ 成果	授業参観を特定の小学校と実施（元気っ子幼，玉里幼）運動会の練習，持久走大会等の参観（堅倉幼）フリー参観参加，出身園職員と小学校教諭との情報交換会実施（納場幼）			
		課題	教師間での情報交換や研修，交流の時間の確保。			

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
交流会	幼小の連携を密にし，計画的に交流会を実施する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-4-2 P.59	実施状況・ 成果	園児が，園外活動の一環として，小学校を訪問し，学校内を見学するほか，訪問校の低学年生と遊ぶなどの交流を図っている。			
		課題	今後も継続して行っていく。			

担当課	幼稚園	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
交流会	幼小の連携を密にし，計画的に交流会を実施する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-4-2 P.59	実施状況・ 成果	夏季休業期間等を活用し，職員の保幼小合同研修会を実施（元気っ子幼） 小学校との交流会 年18回（羽鳥幼） 持久走大会応援，1年生との交流会，2年生町探検で来園（堅倉幼） 1年生との交流8回，2・3・5年生との交流実施，引き渡し訓練，納場っ子フェスタへの参加（納場幼）			
		課題	統合幼稚園と各小学校との交流回数連携が難しい。			

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
幼児教育接 続推進★	幼児期から児童期にかけては，学びの基礎力を培う大切な時期であることから，互いの教育を見通し，連続性・一貫性のある教育を行うため，研修会を実施する。また，幼児と児童の交流，教職員の交流を推進する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-4-2 P.59	実施状況・ 成果	公立小学校・園及び，私立園による保幼小連携研修会を開催し，保幼小で共通のテーマを設定したり，接続に関する活動の在り方を検討したりするなど，交流・連携を推進を図ってきた。			
		課題	園内リーダー・保幼小接続コーディネーターのリーダーシップのもと，交流・連携の推進を図っていききたい。			

担当課	幼稚園	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
幼児教育接 続推進★	幼児期から児童期にかけては、学びの基礎力を培う大切な時期であることから、互いの教育を見通し、連続性・一貫性のある教育を行うため、研修会を実施する。また、幼児と児童の交流，教職員の交流を推進する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-4-2 P.59	実施状況・ 成果	幼児と各小学校の児童との交流を年数回実施（元気っ子） 羽鳥小学校区の保・幼・小合同研修の実施（羽鳥幼） 幼稚園・近隣保育園と小学校との保幼小職員研修の実施（堅倉幼） 夏季休業中に小学校との合同研修会を実施（納場幼） 小学校と連携し読み聞かせや音読を実施（玉里幼）			
	課題	保幼小間の職員交流が難しいが、情報交換を行う場を確保し、相互理解しながら滑らかな接続に繋げていきたい。				

**基本方針 1 子供たちの自主性・自立性を培い、自ら学び、たくましく社会を生き抜く力を育みます**

**【基本施策5】次世代を担う青少年の健全育成**

子供たちが地域で安全かつ安心して過ごせるよう、学校、家庭、地域や関係団体が連携し、次代を担う青少年の健全育成に取り組みます。また、乳幼児期から小・中学校期まで切れ目のない家庭教育支援に取り組み、家庭の教育力の向上を図ります。

**基本方向 1 地域における青少年育成体制の整備促進**

○ 次代を担う青少年が、心身ともにたくましく成長できるまちを目指し、学校、家庭、地域や関係団体が連携し地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組みます。

目標指標 「青少年の健全育成に協力する店」の登録件数						
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
25件	26件	27件				30件

**①青少年健全育成活動への支援**

担当課	生涯学習課	予算額	779千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	779千円		
事業名		事業の概要			
社会教育団体への支援	学校と家庭がともに教育について理解を深め合い、学校教育の充実や地域における教育環境の充実を図るため、「市PTA連絡協議会」の活動を支援する。				
	実施状況・成果・課題				
	1-5-1 P.60	実施状況・成果	実施状況 「市PTA連絡協議会」に補助金を交付し活動を支援している。事務局は市PTA連絡協議会会長が所属する小中学校が担当している。		
		課題	自発的に活動している団体であり、これからも支援し続けることが大切である。		

担当課	生涯学習課	予算額	1,907千円	平成30年 度の評価	B	
		決算（見込）額	1,907千円			
事業名	事業の概要					
子ども会育成団体への支援	子供たちが、祭りや遊びなど様々な体験を通して、異年齢のなかでの人とのつきあい方や社会のルールなどを身につけるため、「市子ども会育成連合会」の活動を支援する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-5-1 P.60	実施状況・成果	<p>実施状況 「小美玉市子ども会育成連合会」に補助金を交付すると共に、地域まつりやレクリエーション、体験活動など各種事業を実施するにあたり、調整や事務的な作業を行っている。</p> <p>成果 学区育成会や単位子ども会との調整等も行っており、円滑な事業実施につながっている。</p>			課題

担当課	生涯学習課	予算額	2,505千円	平成30年 度の評価	B	
		決算（見込）額	2,505千円			
事業名	事業の概要					
各地域の青少年健全育成団体への支援	青少年の健全な育成における様々な情報を共有し、パトロールや研修等を行う「青少年を育てる小美玉市民の会」や「市青少年相談員連絡協議会」の活動を支援する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-5-1 P.60	実施状況・成果	<p>実施状況：「青少年を育てる小美玉市民の会」及び「市青少年相談員連絡協議会」に補助金を交付すると共に、パトロールをはじめ様々な事業を実施するにあたり、調整や事務的な作業を行っている。</p> <p>成果：学校や行政等との調整等も行っており、円滑な事業実施につながっている。</p>			課題

担当課	生涯学習課	予算額	6,555千円	平成30年 度の評価	B	
		決算（見込）額	6,336千円			
事業名	事業の概要					
七つの祝い式典★	未来を担う子供たちの健やかな成長を願い、七歳の節目を祝う式典を開催し、ランドセル贈呈と親子で参加できるバラエティショー（芸術鑑賞）を実施する。					
	実施状況・成果・課題					
	1-5-1 P.60	実施状況・成果	<p>現状：来年4月に小学校に入学する子ども達を対象に、7つのお祝い記念品としてランドセルを贈呈し、子ども達の健やかな成長に今最も必要とされる、思いやりや我慢する心を養える内容の演劇鑑賞を実施している。</p> <p>成果：多くの出席者のもと、親子で楽しいひとときを過ごすことができた。また、安価で質の高いランドセル及び演劇を提供することができた。</p>			課題

担当課	生涯学習課	予算額	1,300千円	平成30年 度の評価	B
		決算(見込)額	1,185千円		
事業名	事業の概要				
成人式典	新成人となる市民の新しい門出を祝福するため、市内居住の成人者及び市内中学校を卒業した成人者を祝う式典を開催する。成人者代表による実行委員会を組織し、企画から当日の進行までを成人者が担当する。				
	実施状況・成果・課題				
	1-5-1	実施状況・成果	<p>現状：新たに成人された方への祝福と、成人者としての心構えや意識付けを目的に実施しており、式典の運営及びアトラクションの企画運営を成人者で組織する成人式実行委員会が行っている。記念品として、当日の集合写真を贈呈している。</p> <p>成果：成人者自身が企画運営をすることで、成人者としての心構えや意識付けが図られている。またトラブル等もなく思い出深い式典になっている。</p>		
P.60	課題	各中学校から実行委員候補のリストをいただいているが、仕事や学業等の関係や居住地が遠距離等のため、実行委員の確定に時間と手間を要している。			

②家庭・地域の連携・協力体制の整備促進

担当課	生涯学習課	予算額	— 千円	平成30年 度の評価	B
		決算(見込)額	— 千円		
事業名	事業の概要				
連携・協力体制の整備促進★	学校・家庭・地域が連携・協力して子供を育てるネットワークづくりを進め、保護者や地域住民による学校教育活動や地域の学習・体験活動等への支援を促進する。				
	実施状況・成果・課題				
	1-5-1	実施状況・成果	<p>現状：子ども会育成会や青少年を育てる小美玉市民の会及び地区コミュニティ等が、各団体単独又は学校等と連携し、体験活動や子ども達と地域をつなげるような事業を実施している。</p> <p>成果：催しで子ども達と地域の大人が一緒になることで、子ども達と地域大人との信頼関係が生まれている。</p>		
P.61	課題	実施している地域としていない地域とがある。			

担当課	生涯学習課	予算額	— 千円	平成30年 度の評価	A
		決算(見込)額	— 千円		
事業名	事業の概要				
「青少年の健全育成に協力する店」の登録促進	地域にある店舗に、環境改善や青少年への声かけなどの協力をさせていただく「青少年の健全育成に協力する店」への登録を促進する。				
	実施状況・成果・課題				
	1-5-1	実施状況・成果	<p>実施状況：9月から10月の市内巡回パトロール時に市内の書店やコンビニエンスストアなどを回り、28店舗に登録を依頼した。</p> <p>成果：前年度からの継続を含めて27店舗が登録した。うち新規登録は2件である。</p>		
P.61	課題	昨年度登録されなかった1店舗は、責任者が不在のため直接依頼できなかったことが原因であると考えられるため、今年度は責任者に直接交渉して登録できるようにする。			

## 基本方向2 青少年の体験活動の推進

- 学校や家庭、地域社会と連携し、子供の成長過程における社会体験などの体験活動を推進します。
- 青少年の地域の行事やイベントへの参加を促進し、地域の人々との触れあいを通して地域社会の一員としての自覚を促します。

目標指標	子ども議会の実施数					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
1回	1回	1回				維持

### ①社会体験活動の充実

担当課	生涯学習課	予算額	324千円（青少年を育てる小美玉市民の会より）	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	324千円（青少年を育てる小美玉市民の会より）		
事業名		事業の概要			
子ども議会 ★	子供たちが議会活動の一部を体験する子ども議会を開催する。市政をより身近に感じ関心を高めるため、子供たちから見た市政に対する意見や要望、提言などを聞き、子供たちのまちづくりへの参画を促進する。				
	実施状況・成果・課題				
	1-5-2	実施状況・成果	<p>実施状況：学校長会と青少年を育てる小美玉市民の会が合同で実施しており、市議会議場を会場に各小学校の6年生約20名が子ども議員となり一般質問形式で、家庭や学校等の身近なことから、まちづくり等の市政に関することまで、様々な問題を市執行部に質問する。</p> <p>成果：まちづくりに子どもの視点を取り入れ、子どもがまちづくりに参加する機会になっている。子ども達には、議会を体験する貴重な機会となっている。</p>		
P.61	課題	各学校の6年生児童の人数により子ども議員数を割り振っているため、学校により子ども議員数に偏りが生じている。子ども議員の質問内容に偏りが生じている。			

### ②地域活動への参加促進

担当課	生涯学習課	予算額	530千円（小美玉市子ども会育成連合会より）	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	530千円（小美玉市子ども会育成連合会より）		
事業名		事業の概要			
ジュニアリーダー研修会	様々な体験活動による研修会や子ども会活動支援、自然体験キャンプの開催、市の行事への参画など、活動の中心となるジュニアリーダーの育成を図る。				
	実施状況・成果・課題				
	1-5-2	実施状況・成果	<p>実施状況：小学生や中高生ジュニアリーダーを対象にした仲間づくりキャンプや野外活動研修会を実施するなど、子ども会ジュニアリーダー育成の活動を支援した。</p> <p>成果：子ども会活動の中心となるジュニアリーダーが育ち、学区育成会や単位子ども会の行事へ参加するようになり活躍している。</p>		
P.62	課題	部活動が重なると参加できない日がある。			

担当課	生涯学習課	予算額	36千円（小美玉市子ども育成連合会より）	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	36千円（小美玉市子ども育成連合会より）		
事業名	事業の概要				
こどもまつり	「市子ども会育成連合会」が子供たちの遊びを通じた体験イベントを開催する。				
	実施状況・成果・課題				
	1-5-2	実施状況・成果	実施状況：文化祭と抱き合わせで「こどもまつり」を実施している。 成果：模擬店を出店しポップコーンや綿菓子などを販売した。子どもが楽しめる遊び体験ができるように、ストラックアウトや輪投げなどを楽しむ親子の姿が見られた。		
P.62	課題	来場者は園児が多く、小学生や中学生の参加が少ない。			

### 基本方向3 青少年の居場所づくり

- 児童が放課後等を安全に安心して活動できる場所を提供します。
- 子供たちが地域の人々と交流し見守られながら、安全・安心に過ごせる環境づくりを推進します。

目標指標	市内及び特別巡回パトロールの実施回数					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
24回	24回	25回				26回

### ①放課後子どもプランの推進

担当課	学校教育課	予算額	111,454千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	107,515千円		
事業名	事業の概要				
放課後子どもプラン	小学校1～6年生までの児童を対象とした放課後等における子供たちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設置し、指導員を配置する。				
	実施状況・成果・課題				
	1-5-3	実施状況・成果	開設箇所数 11箇所 利用児童数 441人（30.5.1現在 平常利用登録数） 発達障害理解促進事業 3日間・8名参加 放課後児童指導員認定資格研修 4日間・6名参加 指導員の質の向上を図るため、県主催の研修会に積極的に参加した。各プランの指導員間の直接的な情報交換の場は多くはなかったが、コーディネーターを通して指導員の情報の共有及び業務の改善やサービスの向上が図られた。		
P.63	課題	入所児童数が年々増加傾向にある中で、今後一層の充実を図るため、指導員の育成と人材確保を継続していく必要がある。			

## ②安全・安心な地域環境づくり

担当課	生涯学習課	予算額	920千円（報酬全体）	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	660千円（パトロールのみ）		
事業名		事業の概要			
市内及び特別巡回パトロール★	市内巡回パトロールや、祭りやイベント時の特別巡回パトロールを実施する。				
	実施状況・成果・課題				
	1-5-3 P.63	実施状況・成果	実施状況：7月から11月にかけて市内小中学校の通学路を中心に市内巡回パトロールを行った。特別巡回パトロールはふるさとふれあいまつりやスポレクデーなどの市の開催するイベントのほか、地区の祭礼や行政区のイベント時に行った。成果：特別巡回パトロールでは、県条例によって青少年の午後11時から午前4時までの深夜外出が禁止されていることが記載されたウェットティッシュの配布などを行い、青少年や保護者にその旨が周知された。		
	課題	防犯・非行防止効果を高めるために、相談員がパトロールを行っていることを周知する。			

### 基本方向4 家庭における教育力の向上

- 家庭・地域と連携し、子供たちの人や物、出来事との豊かな関わりを計画的に推進します。
- 家庭の教育力を向上させるため、保育園、幼稚園、小学校において家庭教育学級を実施し、保護者が学ぶ機会を提供します。
- 家庭教育を基盤として規範意識や思いやりの気持ちなどが培われることを自覚し、乳幼児期からの子供の接し方や教育の仕方を知らせていきま
- 家庭との連携による規範意識の醸成と基本的生活習慣の定着を図ります。

目標指標	家庭教育学級の実施率					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
93.5%	93.5%	93.3%				96.8%

### ①家庭の教育力向上

担当課	生涯学習課	予算額	240千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	238千円		
事業名		事業の概要			
家庭教育学級の実施★	子育ての基本的な知識や子供の生活習慣、しつけなどに関して学ぶ機会の提供や保護者同士の交流の機会となる家庭教育学級を保育園、幼稚園、小学校において開催する。				
	実施状況・成果・課題				
	1-5-4 P.64	実施状況・成果	実施状況：市内の保育園、幼稚園、小学校低学年を対象に事業内容の説明会を開催し、6月から翌年2月までの期間内で各学級ごとに学習会を開催した。成果：市内の保育園、幼稚園、小学校低学年計28学級が参加し、年間5～6回の学習会を行った。生活習慣やしつけのほか、親子で身体を動かしたりものを作ったりする学習会が多く行われ、親子間に限らず保護者間の交流も深まった。		
	課題	市内の私立保育園・幼稚園では家庭教育学級に参加していないところがある。そのような園に対して参加を呼びかける。			

担当課	生涯学習課	予算額	240千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	238千円		
事業名	事業の概要				
家庭教育学級の内容の充実	保護者が子供への接し方やしつけなどについて学び・体験するだけでなく、保護者同士で家庭での教育について話し合えるよう、専門家を交えながらグループでワークショップを行うなど家庭教育学級の充実を図る。				
	実施状況・成果・課題				
	1-5-4	実施状況・成果	<p>実施状況：茨城県教育委員会の発行する家庭教育ブックを対象となる保護者に配布した。「家庭教育ブックを活用した研修会」を実施したほか、家庭教育学級の中で保護者の懇談会を実施した。</p> <p>成果：市内の小学校12校で就学時健診や入学説明会時に研修会を実施した。家庭学級においては懇談会に限らず、親子で参加する学習会で親同士が交流を深める場面が設けられた。また、親子コーラスなど保護者が何度も練習に参加するようなものも行われた。</p>		
P.64	課題	レクリエーション的な内容のものが多く見られた。子育てや子どもとの関わり方に関する知識等を深める学習会を開催する。			

## ②幼稚園における支援

担当課	幼稚園	予算額	— 千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	— 千円		
事業名	事業の概要				
マナーアップ 朝のあいさつ運動	幼児に礼儀を身につけさせるため、登園時のあいさつ運動を保護者とともに行う。				
	実施状況・成果・課題				
	1-5-4	実施状況・成果	<p>全保護者にあいさつ運動の協力依頼を行った（元気っ子幼）本部役員で1回実施（羽鳥幼）</p> <p>PTA主催で当番で毎月1週間実施（堅倉幼）</p> <p>教師・保護者が一緒になって毎日手本を見せた（納場幼）</p> <p>幼稚園の玄関前で、朝のあいさつを保護者や園児と実施（玉里幼）</p> <p>○継続的に実施している園では習慣としてあいさつが身に付いてきた。</p>		
P.65	課題	バス登園の保護者の協力は難しい。依頼方法の見直し。			

担当課	幼稚園	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
地域の子供 たちへの安 全配慮	降園時に保護者が行う立哨の際に、幼稚園関係者だけでなく、小・中学生など地域の子供たちへの安全に配慮するよう促す。					
	実施状況・成果・課題					
	1-5-4 P.65	実施状況・ 成果	バス登園の幼児が多いため実施困難（元気っ子幼） 小学校の下校時間が重なるときに、保護者が横断旗で交通安全指導を実施（堅倉幼） 事件・事故等の情報を降園時に保護者に伝達し、協力依頼（納場幼） 送迎バスの中から、小中学生の登下校も見守っている（玉里幼）			
	課題	バス通園者の多い園では、保護者が実施することは困難。				

### ③学校における支援

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
規範意識の 醸成と基本 的生活習慣 の定着★	学校において、児童生徒と保護者が、携帯電話・スマートフォン・携帯ゲーム機等の安全な使用について考える機会を設け、家庭での話し合いやルールづくりを推進する。また、リーフレット「家庭学習のすすめ」を配布し、基本的生活習慣の確立について、保護者の意識を高める。					
	実施状況・成果・課題					
	1-5-4 P.65	実施状況・ 成果	学校において、メディア教室は全ての学校で実施することができた。メディア教室や面談、懇談会等で携帯電話、スマートフォン、携帯ゲーム機等の使用について児童生徒と保護者が話合う機会を設けることができた。			
	課題	メディア教室や懇談会の保護者の参加率が高くないのが課題である。				

**基本方針2 確かな学力の定着を図るとともに活用する力を伸ばし、子供たち一人一人の可能性を広げます。**

**【基本施策1】確かな学力の定着**

児童生徒一人一人に応じた学習指導に努め、言語活動の充実を図るとともに、「課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」の育成や「学習意欲」の醸成により、確かな学力の定着を図ります。

**基本方向1 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と活用する力の育成**

○ 学校における学習指導に係るRPDCAサイクルを確立し、子供たちの学力の向上を図ります。

○ 子供たちの主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に向けて、各教科等の指導力を高めるため、教員の研修等の充実を図ります。

目標指標	学力診断のためのテストの平均正答率					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
4教科(小6) 71.1%	4教科(小6) 73.0%	4教科(小6) 73.0%				4教科(小6) 73.0%
5教科(中3) 60.4%	5教科(中3) 63.0%	5教科(中3) 63.0%				5教科(中3) 63.0%

**①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善**

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年度の評価	B
		決算(見込)額	—	千円		
事業名	事業の概要					
全国学力・学習状況調査★	全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。					
	実施状況・成果・課題					
	2-1-1 P.68	実施状況・成果	学力向上対策委員会を開催し、学力や学習状況の分析を行った。授業改善のための資料を作成し、全教職員に配布した。教育指導の充実や学習状況の改善に役立てた。また、分析結果と資料は、市のWEBページに公表した。			
		課題	分析結果をもとに、授業改善を図る。			

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
茨城県学力 診断のため のテスト★	基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用する学習活動を充実させ、学習意欲や思考力・判断力・表現力等を育成し、確かな学力の向上に努める。					
	実施状況・成果・課題					
	2-1-1 P.68	実施状況・ 成果	「学校改善プラン」に基づいた学力向上の取組みを推進した。テストの結果については、分析シート等を活用し、RPDCAサイクルを確立しながら、児童生徒の学力の向上を図った。			
	課題	授業改善を図り、確かな学力の向上に努める。				

## ②基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得

担当課	指導室	予算額	15,300	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	12,302	千円		
事業名	事業の概要					
チーム・ ティーチン グによる指 導	複数の職員が協力して授業を行うことで一人一人に応じたきめ細かい指導に努める。					
	実施状況・成果・課題					
	2-1-1 P.69	実施状況・ 成果	学校の抱える課題の解消に応じたり、教育活動の活性化を図った。児童が安定した学校生活を送るための一助となっている。学校担任との授業打合せについても、時間の確保を進めていく。			
	課題					

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
習熟度別指 導	学習内容の習熟の程度に応じた指導を行うことで、児童の実態に応じ学習内容を確実に身につけることができるように努める。					
	実施状況・成果・課題					
	2-1-1 P.69	実施状況・ 成果	学校の実態に応じた習熟度別指導を行った。少人数加配教員等を活用し、少人数習熟度別学習を行った学校もあった。			
	課題	今後も児童生徒一人一人に応じた学習指導の充実を図っていく。				

## 基本方向2 言語活動の充実

○ 児童生徒の思考力・判断力・表現力等を育成するため、国語をはじめ各教科等で記録，説明，批評，論述，討論などの学習を充実させていきます。

目標指標	言動活動の充実に向けた取組状況					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
小学校 91.6%	小学校 100%	小学校 100%				小学校 100%
中学校 100%	中学校 100%	中学校 100%				中学校 100%

### ①各教科の授業における言語活動の充実

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
学校訪問指導★	各教科の学習の抱える課題解決についての研究協議や指導助言を行い，教育水準の向上を図る。					
	実施状況・成果・課題					
	2-1-2	実施状況・成果	各校が抱える学習指導上の課題解決に向けた研究協議を行い，指導助言を行うとともに，学習指導要領等の改訂などについて説明することを通して，教育水準の向上に努めてきた。			
P.69	課題	新学習指導要領完全実施に向けて，適切な助言ができるよう努める。				

**基本方針2 確かな学力の定着を図るとともに活用する力を伸ばし、子供たち一人一人の可能性を広げます。**

**【基本施策2】新しい時代に必要となる資質・能力の育成**

国際教育や環境教育等の充実を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業の改善に努め、これからの時代に求められる資質・能力を児童生徒が身につけられるよう取り組みます。

**基本方向1 新しい時代に必要となる資質・能力の育成**

- 生きて働く「知識・技能」の習得を図ります。
- 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力」の育成を図ります。
- 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」を涵養します。

目標指標	校内研修の実施回数					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
100%	100%	100%				100%

**基本方向2 特色ある教育の推進**

- 環境やエネルギーを大切にする実践的な態度の育成や環境に関する体験的な活動の充実を図ります。
- 国際関係や自国文化・異文化の理解を深めるとともに、国際社会で活躍できる人材を育成します。
- 算数・数学や理科の授業の質の向上を通して、児童生徒の理科や科学技術、算数・数学に対する興味・関心を高め、学習意欲の向上を図り、創造性、知的好奇心、探究心を育成します。
- 個に応じた補充学習などを行い、基礎的・基本的な知識の技能や定着を図ります。
- 市の豊かな自然、魅力ある伝統や文化、優れた芸術、特色ある産業など、良さを実感させる学習を行うことにより、郷土愛を育てる教育を推進します。

目標指標	質問紙調査の割合					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
小学校 28.7%	小学校 29.1%	小学校 28.7%				小学校 35.0%
中学校 27.7%	中学校 28.1%	中学校 30.7%				中学校 35.0%

①環境教育の充実

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
地域資源を 活用した自然 体験学習の 充実	総合的な学習の時間や理科等において、霞ヶ浦等の自然を体験する学習を推進する。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・ 成果	総合的な学習の時間や理科において、霞ヶ浦や霞ヶ浦に流入する河川の周囲の学校では、霞ヶ浦や霞ヶ浦に流入する河川の、水質調査や動植物の調査を継続して取り組むことができた。				
2-2-2						
P.71	課題	霞ヶ浦や河川での活動に関しては、安全面が優先されるため、児童生徒の自由な活動には、多くの保護者や地域の方々の協力が必要である。				

②国際教育の推進

担当課	指導室	予算額	28,300	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	28,300	千円		
事業名	事業の概要					
ALT配置 事業	市内小・中学校等にALTを配置し、指導担当教員とのチーム・ティーチングを効果的に行うことにより、小学校外国語活動や小・中学校英語教育の充実を図る。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・ 成果	ハートコーポレーションと連携し、市内小・中学校等に9名のALTを配置し、指導担当教員とのチーム・ティーチングを効果的に行うことで、小学校外国語活動や中学校英語教育の充実を図ってきた。				
2-2-2						
P.72	課題	2020年度の小学校教科化に向け、全小中学校にALTを配置する必要がある。				

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	A
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
国際交流	異文化体験等の活動を適切に取り入れ、異文化に対する理解や異なる文化をもつ人々と共生していこうとする態度の育成を図る。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・ 成果	姉妹都市アメリカ合衆国カンザス州アビリン市でのホームステイを通して、生の英語を学ぶとともに、姉妹都市の人達と心温まる交流を行うことができた。				
2-2-2						
P.72	課題					

③算数・数学，理科の授業の質の向上

担当課	指導室	予算額	506千円	平成30年 度の評価	A
		決算（見込）額	506千円		
事業名	事業の概要				
学びの広場 サポート事業（小学校 算数）★	小学4・5年生を対象として，夏休みに県作成の学習教材を用いて学習する場を提供し，一人一人に応じたきめ細かな支援をすることを通して，四則計算等の知識・技能の定着を図る。				
	実施状況・成果・課題				
	実施状況・ 成果	夏休み期間中に5日間実施した。すべての小学校でサポーターを活用し，個に応じた指導を行うことができた。実施後の評価テストでは，計算力の向上が見られた。			
2-2-2					
P.72	課題				

担当課	指導室	予算額	146千円	平成30年 度の評価	A
		決算（見込）額	146千円		
事業名	事業の概要				
学びの広場 サポート事業（中学校 数学）★	中学1・2年生を対象として，年間を通し県作成の学習教材を用いて学習する場を提供し，一人一人に応じたきめ細かな支援をすることを通して，基礎学力の定着を図る。				
	実施状況・成果・課題				
	実施状況・ 成果	夏休み期間を中心に15時間程度実施した。すべての中学校でサポーターを活用し，個に応じた指導を行うことができた。実施後の評価テストでは，計算力の向上が見られた。			
2-2-2					
P.72	課題				

④郷土教育の充実

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
地域資源を 活用した体 験学習の充 実	総合的な学習の時間や生活科，社会科等において，地域資源を活用した 体験学習を推進する。					
	実施状況・成果・課題					
	2-2-2 P.72	実施状況・ 成果	総合的な学習の時間や生活科，社会科において地域の方々の協力で，地域の調べ学習等を行うことができた。また，全ての小学校で，稲作やサツマイモ栽培，ジャガイモ栽培等の自然体験を取り入れた学習を行うことができた。			
	課題	多くの学校で，地域の方と連携を図ったが，不十分な面も見られたのが現状である。				

**基本方針2** 確かな学力の定着を図るとともに活用する力を伸ばし、子供たち一人一人の可能性を広げます。

**【基本施策3】キャリア教育の充実**

学校や地域の特色を生かしながら、各学年に応じたキャリア教育の充実を図り、児童生徒の勤労観や職業観を育成します。

**基本方向1 系統的なキャリア教育の推進**

○ 自己の将来に夢や希望を抱き、その実現を目指し、職業生活に必要な基礎的な知識や技術・技能の取得への関心、望ましい勤労観、職業観の育成を図ります。

目標指標	職場体験の実施状況					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
91.0%	97.6%	99.3%				100%

**①体験活動の充実**

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名		事業の概要				
職場見学・職場体験の実施★	小・中学校における職場体験活動の充実を図り、児童生徒の社会的・職業的自立に向け、必要な基礎となる能力や態度を育成する。地域の企業や事業所の職場体験や職場見学の受け入れについての情報を収集し各学校へ提供する。					
	実施状況・成果・課題					
	2-3-1 P.73	実施状況・成果	職場見学や職場体験を行なうことにより、望ましい勤労観、職業観の育成や自己の将来に夢や希望を抱き、その実現を目指す意欲の高揚を図ることができた。			
	課題	中学2年生で実施している職場体験学習では、受け入れ先の事業所の減少が課題となっている。				

②地域の担い手の育成

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	A
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
いばらきものづくり教育フェアへの参加  2-3-1  P.74	ものづくり教育，職業教育の充実を図り，茨城の将来を担う人材を育成することを目的に行われている「いばらきものづくり教育フェア」の児童生徒作品コンクールへの応募。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・成果	木工チャレンジコンテストや豊かな生活を作るアイデアバックコンテストへの応募があった。ものづくり教育フェアへの参加は100%であった。				
	課題					

**基本方針2 確かな学力の定着を図るとともに活用する力を伸ばし、子供たち一人一人の可能性を広げます。**

**【基本施策4】情報活用能力を育てる教育の充実**

社会の変化に対応したICT環境の計画的な整備と、ICTを活用した協働的、双方向的な授業を展開することで、児童生徒の情報活用能力を育成します。

**基本方向1 ICT教育の推進**

○ 発展を続ける情報化社会のなかでも主体的に適応できるよう、学習活動のなかでICT機器の活用を推進し、協働的、双方向的なより充実した授業を展開することで、児童生徒の情報活用能力の更なる向上を図ります。

○ 質の高い授業を展開するため、ICT機器を活用し、授業改善を積極的に進めます。また、児童生徒の主体的で、対話的な、深い学びを促進するため、すべての教科・領域において、ICT機器の効果的な活用を図ります。

目標指標	ICT機器を活用した授業の時間数					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
3時間/週	4.6時間/週	5.38時間/週				10時間/週

**①各小・中学校におけるICT機器の整備・充実**

担当課	学校教育課	予算額	54,378千円	平成30年度の評価	B
		決算(見込)額	53,974千円		
事業名	事業の概要				
パソコン教室情報教育機器の整備・充実★	学習活動のなかでICT機器を有効に活用することで、児童生徒が将来における情報化社会のなかでも主体的に適応できるよう、情報活用能力の育成を図る。				
	実施状況・成果・課題				
	2-4-1	実施状況・成果	小学校では、オクリンク（授業支援ソフト）を用いてのローマ字入力の練習や、ムーブノートを使っての「調べ学習」を行い、各児童の気づいたことを共有する学習などが行われている。 中学校では更に、気づいたことからの意見交換によるグループトークや、タブレットを用いてのスピーチなど、「情報を収集して活用する」という、より主体的で深い学びに取り組んでいる。		
P.75	課題	情報教育が活発となることで、あらゆる汎用が可能となるため、機器の台数を増設する必要がある、今後の課題となっている			

担当課	学校教育課	予算額	54,378千円	平成30年 度の評価	B
		決算(見込)額	53,974千円		
事業名	事業の概要				
電子黒板等の外部機器の整備・充実★	パソコン機器のほか、電子黒板等の外部機器の更なる有効活用を図ることで、より充実した効果的、効率的な学習活動の推進を図る。				
	実施状況・成果・課題				
	2-4-1	実施状況・成果	<p>小学校においては、各自が育てている野菜の苗の撮影などを行い、電子黒板等を用いて写真等の提示を行い、成長過程の比較をする授業などが行われている。今後は、電子黒板等を用いてのプレゼンテーション活動への応用などが課題として挙げられる。</p> <p>中学校では、各グループごとにタブレットを用いて、植物の分類についてグループ討論を行い、各タブレットでの話し合いの内容などを電子黒板へ投影し、発表を行う活用が例として挙げられた。</p>		
P.75	課題	活用機会の多い教員と少ない教員の格差を埋めるための、教員間での情報交換が必要である。			

担当課	学校教育課	予算額	54,378千円	平成30年 度の評価	B
		決算(見込)額	53,974千円		
事業名	事業の概要				
デジタル教科書等の授業用コンテンツの整備・充実★	ICT機器を有効活用し、児童生徒の情報活用能力の育成、及びより学習効果の高い授業展開を図る。				
	実施状況・成果・課題				
	2-4-1	実施状況・成果	<p>各教科におけるデジタル教材を用いて、小学校では教科書に対応したDVD教材の活用などを行っている。</p> <p>中学校では、英語のリスニングとしても活用できるため、より実践的な英語の学習に結びついている。</p>		
P.75	課題	小学校においても、R1年度より外国語の授業が本格的に開始となるため、今後のALTとデジタル教材の併用による授業展開が大きな課題となっている。			

担当課	学校教育課	予算額	54,378千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	53,974千円		
事業名	事業の概要				
情報教育支援機器の整備・充実★	各公立中学校の教職員においてICT機器を有効活用することで、より効果的な教科指導を推進するとともに、授業効率の向上を図る。				
	実施状況・成果・課題				
	2-4-1	実施状況・成果	<p>文部科学省の「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022）」において、中学校のみならず、学校において授業を担当する教師1人1台の整備が示された。</p> <p>導入に当たる経費・予算を考慮し、各教員が1台ずつ所有する校務用PCを用いて代用することとなった。</p> <p>各授業において指導用PC（今後は校務用PC）を用いての、資料の提示やデジタル教材の提示等、情報教育を拡大させるために効果的な活用がされており、授業の効率化に繋がっている。</p>		
P.75	課題	校務用PCへの負担が大きく、スペックの向上又は機器の増設を検討する必要がある。			

## ② ICT機器を活用した授業改善

担当課	学校教育課	予算額	54,378千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	53,974千円		
事業名	事業の概要				
学校ICT教育環境整備の推進	学校ICT教育環境整備，ICT支援員を活用した指導サポート，小・中学校教職員の研修会，教科ごとの活用講習会を実施する。				
	実施状況・成果・課題				
	2-4-1	実施状況・成果	<p>小美玉市教育研究会において、情報教育担当教員での研修が行われている。</p> <p>各小中学校間での活用方法の意見交換等が行われており、よりよい活用の推進が伺われる。</p> <p>（タブレットPC整備数【小学校：103台】【中学校：66台】）</p>		
P.76	課題	<p>教育委員会とICT支援員による情報共有についても、年間を通して行われており、今後は教育委員会と学校での推進検討委員会や情報教育以外の強化への汎用が求められる。</p> <p>（タブレットPC目標整備数【小学校・中学校ともに3人に1台】）</p>			

**基本方針2 確かな学力の定着を図るとともに活用する力を伸ばし、子供たち一人一人の可能性を広げます。**

**【基本施策5】インクルーシブ教育の充実**

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図るとともに、子供たちが「わかる・できる」授業を目指すことで、障がいのある人とない人がともに学ぶインクルーシブ教育の充実を図ります。

**基本方向1 特別支援教育の充実**

- 障がいのある児童生徒それぞれの能力や教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進します。
- 児童生徒の自立と社会参加を見据え、個別の教育的支援を必要とする幼児、児童生徒に対して、多様で柔軟な仕組みを整備して、個に最も的確に応える支援を提供していきます。

目標指標	公立幼・小・中における障がいのある幼児，児童生徒に対する個別の指導計画及び個別の教育支援計画の作成率					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
72.7%	100%	100%				100%

**①一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進**

担当課	学校教育課	予算額	53,680千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	51,329千円		
事業名	事業の概要				
生活介助員の配置★	一人一人の障がいの状態や教育的ニーズに応じ，市内公立幼稚園・小・中学校に生活介助員を配置し，学級生活の支援と教育の充実に努める。				
	実施状況・成果・課題				
	2-5-1 P.77	実施状況・成果	幼稚園及び小学校，中学校に在籍する障がいのある園児及び児童，生徒に対し学校生活における介助を行うため，生活介助員の配置，支援により，対象となる園児及び児童，生徒が円滑な学校生活を送ることが出来ている。 (生活介助員の配置) 幼稚園5名，小学校34名，中学校1名		
	課題	対象児童等の数が増える中，突発的な生活介助員の要望にも柔軟に対応できる予算と人材の確保が必要。			

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
障がいに応じた特別支援学級の設置	障がいの状態や教育的ニーズに応じ、法律の定める範囲において、通級学級を含めた特別支援学級の設置を行う。					
	実施状況・成果・課題					
	2-5-1 P.77	実施状況・成果	教育支援会議を開催し、該当児童生徒を一人一人、調査・審議し、学校教育法施行規則に則り必要に応じて特別支援学級の設置を行っている。			
		課題	特別支援教育に関して、保護者の理解を得られない場合があるため、丁寧な対応が求められている。			

担当課	学校教育課	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
特別支援教育に関わる教職員の研修等の実施★	生活介助員に向けた研修を積極的に行い、より充実した支援・教育の向上に努める。					
	実施状況・成果・課題					
	2-5-1 P.77	実施状況・成果	障がいのある園児，児童生徒が，安心して学校生活等を出来るよう，生活介助員を対象に夏休みの期間に1回研修会を実施した。			
		課題				

## ②通常の学級における指導の充実

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
一貫した教育的支援	個別の教育支援計画を用いて、幼保・小・中における個別の教育的支援の円滑な接続を推進する。					
	実施状況・成果・課題					
	2-5-1 P.78	実施状況・成果	小学校と中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒に関して、個別の教育支援計画が作成され、障害のある児童生徒の一人一人のニーズを正確に把握している。小学校から中学校に進学した際に確実に引き継がれ、一貫して的確な教育的支援が行なわれている。			
		課題	幼保小の個別の教育支援計画を用いた連携が課題である。			

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
特別支援教育理解啓発リーフレットの配布	特別支援教育理解啓発リーフレットを小学校1年生の保護者に配布し、特別支援教育についての理解啓発を図る。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・成果	小学1年生のPTA学年懇談会（1学期）で特別支援教育理解啓発リーフレットを全家庭に配布し、特別支援教育についての理解啓発を行った。				
2-5-1						
P.78	課題	1回だけの説明では不十分なため、継続して啓発していく必要性がある。				

### ③教育相談体制の充実

担当課	指導室	予算額		千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	11,705	千円		
事業名	事業の概要					
スクールソーシャルワーカー配置事業	スクールソーシャルワーカーを配置し、発達障害や不登校等が懸念される幼児、児童生徒に対して学校と保護者、医療機関等の専門機関との連絡調整を図りながら、適切な支援を行う。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・成果	3名のスクールソーシャルワーカーを配置し、不登校、虐待及び不適切な養育環境、暴力行為、いじめ、発達障害、精神面での不安定さなど、児童生徒に関わる様々な課題の解決が図れるように支援を行なっている。昨年度の相談件数は、1268件であった。				
2-5-1						
P.78	課題	相談件数が多いため、相談が集中してしまう時期があり対応しきれないことがある。				

#### 基本方向2 ユニバーサルデザインによる教育の推進

○ 「障害者差別解消法」で義務づけられている合理的配慮に基づいた、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた授業を推進します。

○ 特別な配慮を必要とする幼児への支援、方策を工夫し、ユニバーサルデザインの考え方に基づく事例等を参考にしながら研修を行い、全職員の指導力向上に努めます。

目標指標	「授業内容が分かる」と答えた児童・生徒の割合					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
小学校 82.9%	小学校 82.1%	小学校 83.2%				小学校 85.0%
中学校 71.6%	中学校 71.9%	中学校 72.1%				中学校 73.0%

①授業のユニバーサルデザイン化

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
授業のユニ バーサルデ ザイン化	すべての児童生徒が見通しをもって学習課題に意欲的に取り組めるよう、授業改善を推進します。					
	実施状況・成果・課題					
	2-5-2 P.79	実施状況・ 成果	小中各学校の特別支援コーディネーターを中心に、ユニバーサルデザインを意識した授業改善が進められている。			
		課題	ユニバーサルデザインを意識した授業改善に関しては、全職員で徹底を図る必要がある。			

②基礎的環境整備

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
わかりやす い掲示，見 本の活用	ひと目でわかる行動の手順，片づけかた，一つ一つ置く位置を決めておく等，見ればわかるようにする。					
	実施状況・成果・課題					
	2-5-2 P.79	実施状況・ 成果	特別支援学級では，掲示物の工夫や板書の工夫でひと目でわかる行動の手順や片づけ方等を見ればわかるように様々な工夫がされている。			
		課題	通常学級においても，掲示物の工夫や板書の工夫でひと目でわかる行動の手順等の提示が必要である。			

担当課	幼稚園	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
わかりやす い掲示，見 本の活用	ひと目でわかる行動の手順，片づけかた，一つ一つ置く位置を決めておく等，見ればわかるようにする。					
	実施状況・成果・課題					
	2-5-2 P.79	実施状況・ 成果	幼児の片付け場所や待つ場所を写真やイラストで掲示することで幼児に分かりやすく整理整頓ができるようになった。（元気っ子幼・堅倉幼・玉里幼） 保育室の動線をしっかり決め，目で分かるように絵で表示した。（羽鳥幼） 行動の手順（身支度等）の掲示をすることで自分で行動できるようになった。（元気っ子幼・堅倉幼・納場幼）			
		課題	園児の困り感を察知し，職員間で共有しながら環境を整えていく必要がある。			

**基本方針3 地域がもつ特色や実態に合わせたより良い学習環境をつくります。**

**【基本施策1】小中一貫教育の推進と学校の適正規模・適正配置**

児童生徒のより良い学習環境を目指し、学校の適正規模・適正配置を進めるとともに、義務教育9年間を連続した教育課程としてとらえ、地域の実態に合わせた小中一貫教育の構築を目指します。

**基本方向1 地域の実態に合わせた小中一貫教育の推進**

- 市内全小・中学校で小中一貫教育を推進します。
- 各地域や中学校区の特色，施設設備の条件を踏まえて，一体型，隣接型，併設型，連携型の3つの形態で小中一貫教育を推進します。

目標指標 小中連携・小小連携に係る事業や研修会の実施状況						
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
1中学校区 (玉里中学校区)	1中学校区 (玉里中学校区)	3中学校区 (小川南・小川北・玉里中学校区)				4中学校区 (全中学校区)

**①小中連携・小小連携の推進**

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年度の評価	B
		決算(見込)額	—	千円		
事業名		事業の概要				
小中連携・小小連携プロジェクト会議	子供の連続的な学びを創造する「小中連携・小小連携」を推進する。					
	実施状況・成果・課題					
	3-1-1	実施状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区ごとの学校教育目標の共有</li> <li>・小中で連続性ある生徒指導体制の整備 (年度末に引継ぎ実施，その他は状況により随時対応)</li> <li>・小中合同や連携しての学校行事の実施(玉里地区年6回)</li> <li>・小中合同での教員研修の実施(各中学校区にて開催)</li> <li>・中学校区内小学校の合同学年会の開催(各中学校区にて最低年1回)</li> <li>・先進校の視察(平成30年11月新治学園義務教育学校)を実施した。児童生徒の学びの連続や教職員同士の情報共有について成果が見られている。</li> </ul>			
P.82	課題	今後の義務教育学校開校に向け，より計画的，具体的な協議の推進が課題である。				

**基本方向2 学校の適正規模・適正配置**

- 学校教育の質の更なる充実を目指し，児童生徒のより良い教育環境を整えるため，望ましい学校規模を確保するなど学校規模・配置の適正化を推進します。

目標指標 小学校の適正規模校の割合						
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
41.7% (12校中5校)	41.7% (12校中5校)	45.5% (11校中5校)				66.7% (9校中6校)

①地域とともにある学校づくり

担当課	学校教育課 施設整備課	予算額 決算（見込）額	(建設付帯工事) 281,083千円 7,858千円 (乗降所の整備)	平成30年 度の評価	B
事業名	事業の概要				
学校再編後の スクール バス運行★	学校再編により遠距離通学となる児童には、スクールバスを運行し、通学の負担軽減と安全を確保する。				
	実施状況・成果・課題				
	3-1-2 P.83	実施状況・ 成果	小川小・橘小の統合による小川南小の通学支援については、準備委員会及び総務・通学部会で協議・決定し、平成31年4月からの運行とした。 また、玉里地区においては、本年度から準備委員会及び総務・通学部会での検討を開始し、令和2年3月を目途に、運行計画案をとりまとめ、その後、保護者等への説明を実施する予定としている。		
	課題	小川南小の通学支援について、今後は、学校側との調整により、運行時刻の変更等、学期単位で見直しを行う予定である。			

担当課	施設整備課	予算額 決算（見込）額	1,660,987千円 1,599,043千円 ----- 内訳 ----- - ①小川南小校舎建築及び外構等の工事 1,448,878千円 ②小川南小学校校舎建築工事監理、玉里学園義務教育学校校舎建設実施設計及び小川北学区義務教育学校校舎建設基本設計（繰越し）等の業務委託 150,165千円 ③玉里学園義務教育学校グラウンド拡張工事の繰越し明許費 (61,544千円)	平成30年 度の評価	B
事業名	事業の概要				
統合校建設 事業★	整備計画に基づき、教育環境の整備を進める。				
	実施状況・成果・課題				
	3-1-2 P.83	実施状況・ 成果	小中学校規模配置適正化実施計画に基づき、次のとおり、事業に取り組んだ。 ①小川南小学校建設等の整備を完了した。 ②令和3年4月の玉里学園義務教育学校開校に向け、校舎建設実施設計を実施した。 令和5年4月の小川北学区義務教育学校開校を目指し、校舎建設基本設計を行った。		
	課題	③玉里学園義務教育学校グラウンド拡張工事は、平成30年度中の完成予定としていたが、平成31年5月までの工期延長となった。			

**基本方針3** 地域がもつ特色や実態に合わせたより良い学習環境をつくります。

**【基本施策2】教職員の業務の質を高めるための支援やサポート体制の充実**

研修の充実により、教職員の資質向上を図るとともに、学校の組織力の強化と教職員のサポート体制の充実を図ります。

**基本方向1 教職員の資質能力の向上**

○ 教職員一人一人のライフステージに応じた研修を充実させ、資質能力の一層の向上を図っていきます。

目標指標	学校課題に即した校内研修の実施					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
75%	100%	100%				100%

**①教職員の資質能力の向上**

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年度の評価	B	
		決算（見込）額	—	千円			
事業名	事業の概要						
校外研修★	国・茨城県教育センター・県・事務所・市などが主体で行い、これからの教職員に求められる資質能力を身につけられるよう取り組む。						
	実施状況・成果・課題						
	3-2-1 P.84	実施状況・成果	教職員としてのキャリアステージに即して、必要な研修機会を確保し、国や県の動向を踏まえながら実施することができた。				
		課題	今後も、「教員の資質の向上に関する指標」等に照らし合わせ計画的に実施していく。				

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年度の評価	B	
		決算（見込）額	—	千円			
事業名	事業の概要						
校内研修★	各学校で行う校内研修を通して、これからの教職員に求められる資質能力を身につけられるよう取り組む。						
	実施状況・成果・課題						
	3-2-1 P.84	実施状況・成果	各学校の目標の達成と教育課題の解決を目指して、計画的・組織的・継続的に研修を進めることができた。その結果、主に主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業改善につながることができた。				
		課題	今後も県研修センターが実施する「校内研修支援訪問事業」を積極的に活用していく。				

## 基本方向2 学校の組織力の強化と教職員サポート体制の充実

- 教職員の資質向上とサポート体制の充実を、組織（市また学校）として対応するため、研修やストレスチェックなどを事業化します。
- 教員が子供と向き合う時間を確保するために、「業務の効率化」に向けて一層力を入れて取り組みます。
- 校務支援システムの充実に向けた働きかけを実施するとともに、研修の充実等により教員のスキルアップを図ります。

目標指標	教職員に対するストレスチェックの実施回数					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
未実施	未実施	1回				1回

### ①教職員の安全衛生管理

担当課	学校教育課	予算額	500千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	336千円		
事業名		事業の概要			
ストレス チェックの 実施	労働安全衛生法に基づくストレスチェックを、公立小・中学校教職員全員を対象に実施し、結果内容に応じた医師等からの面接指導や職場環境の改善検討を行う。				
	実施状況・成果・課題				
	3-2-2 P.85	実施状況・ 成果	小・中学校教職員（正職員・再任用職員フルタイム・臨時的任用職員）を対象にストレスチェックを実施した。11月後半に実施したため、結果通知・希望による医師面談等が年度末の繁忙期となってしまった。また、学校ごとの集団分析結果は通知のみとなり、職場改善に活用する期間がなかった。 受検率 99.7%		
		課題	受検時期を早期に実施し、医師面談やカウンセリングを受ける易い時期に設定する必要がある。		

### ②校務支援システムの充実

担当課	指導室	予算額	45千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	45千円		
事業名		事業の概要			
校務支援シ ステム操作 研修会★	校務支援システムの操作について、研修会を通して教員のスキルアップを図る。				
	実施状況・成果・課題				
	3-2-2 P.85	実施状況・ 成果	年度初めに、システム会社担当者を講師として、配置換え異動者等を対象に研修会を実施した。基本的な操作方法についてのスキルや知識を習得し、円滑な運用に生かすことができた。		
		課題	来年度以降、研修費は、基本システム契約料に盛り込む。		

**基本方針3 地域がもつ特色や実態に合わせたより良い学習環境をつくります。**

**【基本施策3】安全・安心で、地域とつながる教育施設整備の推進**

学校施設の計画的な修繕を図るとともに、安心して学べる教育環境を整備します。また、学校と家庭、地域、関係機関が連携し、交通安全対策や防犯・防災対策を強化することにより、児童生徒の安全の確保に努めます。

**基本方向1 教育施設整備の推進**

○ 中長期的な維持管理・更新に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図りながら児童生徒の安全・安心を確保するため、学校施設の長寿命化対策を推進します。

○ 給食センターの統合を、玉里地区小中一貫の開校時期に併せることによりコストを削減し、学校給食衛生管理基準への適合化を図ります。

目標指標	学校施設の長寿命化計画の策定率					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
0%	0%	0%				100%

**①学校環境の改善**

担当課	施設整備課	予算額	—	千円	平成30年度の評価	—
		決算（見込）額	—	千円		
事業名		事業の概要				
長寿命化計画の作成★	学校施設毎に運営状況や老朽化状況を把握し、それぞれの基本的な方針を定める。					
	実施状況・成果・課題					
	3-3-1	実施状況・成果	令和2年度の計画策定を目指し、関係資料収集及び関係部署との調整を実施した。 平成31年度以降の市役所内施設管理担当部署における、教育施設を含めた保有公共施設の全てに対する長寿命化等適正管理計画策定となった。			
P.86	課題	長寿命化計画策定担当部署との調整を実施し、教育施設改修等の方針策定に繋げる。				

①小美玉学校給食センターと玉里学校給食センターの統合

担当課	学校給食課	予算額	48,000 千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	48,000 千円		
事業名	事業の概要				
センターの 統合事業★	現在の給食センターの調理器や設備の点検を行いながら、玉里地区小中一貫校開設に併せ、統合事業を進めていく。				
	実施状況・成果・課題				
	3-3-1	実施状況・成果	児童・生徒の推計人数をもとに必要備品等の確認や予算計上のための準備を進めた。 小美玉センターの調理機や設備については8年が経過しているため、細かい部品の交換等が増加している。		
P.86	課題	統合までには漏れのないように調整が必要である。小美玉センターの機械類についても普段からメンテナンスを行い、異常があった場合には早急に対応していく。			

基本方向2 学校安全対策の推進

- 市内小・中学校の児童生徒が安全・安心に学校生活を送ることができるよう、安全対策の充実を図ります。
- 各学校において策定している危機管理マニュアルに基づき、事故や災害等発生時の対応についての教職員の共通理解を図り、児童生徒の安全の確保に努めます。

目標指標	通学路合同点検の実施回数					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
1回	1回	3回				1回

①学校安全対策の充実

担当課	学校教育課	予算額	— 千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	— 千円		
事業名	事業の概要				
通学路合同 点検★	「市通学路交通安全プログラム」に基づき、定期的な通学路危険箇所の解消に向けた合同点検を実施する。				
	実施状況・成果・課題				
	3-3-2	実施状況・成果	平成30年3月末時点で対策未完了箇所を茨城県交通安全プログラムに指定し、平成24年に始まった通学路安全対策については対策完了となった。 (危険箇所【小学校：85箇所】 【中学校：24箇所】 【合計：109箇所】 ) (対策完了【小学校：55箇所】 【中学校：17箇所】 【合計：72箇所】 ) (対策率【小学校： 65%】 【中学校： 71%】 【合計：66%】 ) ※H31年3月時点		
P.87	課題	他市町村では依然として交通事故による被害が相次いでいることや、通学路に関する様々な課題があることから、引き続き「通学路における緊急合同点検等実施要領」に基づき、日々、通学路上における危険箇所の早期発見および迅速な対応に努めているところである。 (目標達成率【合計：70%】 )			

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
避難訓練・ 引渡し訓練 ★	各小・中学校，または学校合同による，あらゆる自然災害等を想定した避難訓練・引渡し訓練の実施を促進する。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・ 成果	学校保健安全計画，危機管理マニュアル等を作成し，地震などの自然災害を想定した避難訓練を実施した。学校，地域の実態に応じて小中合同の引き渡し訓練を実施した。				
3-3-2						
P.87	課題	学校保健安全計画，危機管理マニュアルを見直し，避難訓練を実施していく。				

担当課	学校教育課	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
遠距離通学 支援	市内全域の遠距離通学児童の通学支援を検討し，児童の安全確保と負担軽減を図る。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・ 成果	H31.4.1開校の小川南小学校については，統合準備委員会における通学部会において，特に統合によって遠距離通学となる者を中心とし，規程を定めた上でスクールバスの導入を行った。				
3-3-2						
P.87	課題	今後も玉里中学校区・小川北中学校区において統合を行う予定であり，この統合による遠距離通学を余儀なくされる家庭における支援の方法を準備委員会等で検討する予定である。				

**基本方針3 地域がもつ特色や実態に合わせたより良い学習環境をつくります。**

**【基本施策4】いじめや不登校等，児童生徒のためのサポート体制の充実**

多様で複雑化する児童生徒の不安や悩みに対応する相談体制の充実を図り，いじめや不登校等の問題行動の未然防止と早期対応に努め，サポート体制の充実を図ります。また，家庭の経済状況等の影響を受けることなく，学習機会が確保されるよう努めます。

**基本方向1 教育相談体制の充実・強化**

- 不登校，登校しぶり，いじめや心理的問題等，学校教育における様々な問題に対する教育相談に応じ，相談者の不安のケアに努めます。
- 各学校に派遣しているスクールカウンセラー，スクールソーシャルワーカーを活用し，児童生徒の心の安定に努めます。
- 教育支援センター（適応指導教室）との連携を図り，児童生徒の心の安定に努めます。

目標指標	不登校児童生徒（30日以上欠席）出現率						
	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
小学生 0.48%	小学生 0.56%	小学生 0.99%					小学生 0.2%
中学生 3.36%	中学生 3.89%	中学生 3.60%					中学生 2.8%

**①一人一人の悩みや不安に応じる教育相談・支援体制の確立**

担当課	指導室	予算額	—	千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
教育相談体制の確立	スクールカウンセラー，スクールソーシャルワーカー，教育相談員等，専門家の積極的・効果的な活用を図る。					
	実施状況・成果・課題					
	3-4-1	実施状況・成果	3人のスクールカウンセラーで全ての小中学校のカウンセリング活動を行なっている。スクールソーシャルワーカーは3人で，全ての保育園，幼稚園，小学校，中学校の様々な相談活動や就学支援等を行なっている。教育相談員に関しては8名で，適応指導教室の運営や幼少連携，就学支援を中心に行なっている。 多くの子どもたちやその保護者が，これらを活用することで，心の安定や一人一人の教育的ニーズに応じた支援を受けることができた。			
P.88	課題	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー，教育相談員を活用する児童生徒や保護者が増加傾向にあるため，対応が困難になってきている。				

担当課	指導室	予算額	6,992千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	6,313千円		
事業名	事業の概要				
教育支援体制の確立	教育支援センター（適応指導教室）の積極的・効果的な活用を図る。				
	実施状況・成果・課題				
	3-4-1 P.88	実施状況・成果	7名の教育相談員が2ヶ所の適応指導教室に配置されている。適応指導教室に継続的または定期的に通級することで、不登校児童生徒等の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等が図られた。		
		課題	通級する児童生徒が増加傾向にあるため、対応が難しくなっている。		

### 基本方向2 学習機会の確保

- すべての児童生徒が家庭の経済状況等の影響を受けることなく、学習機会が確保されるよう努めます。
- 家庭の経済状況や環境等の影響を軽減するため、学校生活に必要な学用品費等の経済的な支援を行います。

目標指標	就学援助に関する周知の頻度					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
2回	1回 (新入学保護者説明会)	14回 (就学時健診11回, 新入学説明会1回, お知らせ版1回, HP1回)				3回

### ①学用品費等の経済的な援助

担当課	学校教育課	予算額	11,193千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	10,089千円		
事業名	事業の概要				
就学援助 (要保護・ 準要保護)	生活保護受給世帯に属する、または生活保護に準ずる程度に生活に困窮していると認められる世帯に属する児童生徒の保護者に対し、学校生活に必要な学用品費等の経済的な援助を行う。				
	実施状況・成果・課題				
	3-4-2 P.89	実施状況・成果	要保護児童生徒11名、準要保護児童生徒139名を認定し、援助を実施した。また市立小学校に入学予定児童生徒で準要保護の要件に該当する保護者に対して新入学準備金を入学前の3月に支給した。経済的事由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学費用の援助を行ったことで児童生徒の就学機会を確保することができた。		
		課題	就学援助制度を知らない保護者がいるため、積極的な周知活動が必要である。		

担当課	学校教育課	予算額	4,707千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	4,171千円		
事業名	事業の概要				
特別支援教育就学奨励費	特別支援学級に入級する児童生徒の保護者に対し、学校生活に必要な学用品費等の経済的な援助を行う。				
	実施状況・成果・課題				
	3-4-2	実施状況・成果	小学生87名，中学生38名に対して援助を行った。特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に対して、就学のため必要な経費の一部を支給することにより、保護者の負担軽減を図ることができた。		
P.89	課題	新入学用品費，学用品・通学用品購入費請求時に領収書の添付が必要であるが，保存をしておらず，請求できなかった保護者が見受けられた。領収書保存啓発のチラシを作成し，学校に随時配布するよう依頼した。			

**基本方針3 地域がもつ特色や実態に合わせたより良い学習環境をつくります。**

**【基本施策5】地域に開かれた学校の推進**

地域に開かれた学校を目指し、学校教育の場に適した地域の人材の活用により、学校支援体制の充実・強化を図ります。

**基本方向1 地域の学校支援体制の充実・強化**

○ 授業時における授業補助，部活動の指導補助，学校行事支援，学校環境整備，登下校の見守り等の地域人材の活用による，学校教育の充実や地域の教育力の向上に取り組みます。

目標指標	学校支援ボランティアの登録者数					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
225名	213名	204名				250名

**①学校教育の充実や地域の教育力の向上**

担当課	指導室	予算額	226 千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	226 千円		
事業名	事業の概要				
学校支援ボランティア活用事業★	学校と地域の連携を図り，地域全体で学校教育を支援する体制を整えるとともに，各地域の教育力の向上を図るため，より組織的な学校支援体制を構築する。				
	実施に向けた取り組み状況・成果・課題				
	3-5-1	実施状況・成果	各小中学校において， ・学習支援（読み聞かせ，技術・家庭の実習補助など） ・環境整備（花壇の花植え，除草作業など） ・運動部活動の指導補助 ・図書館整備 ・登下校の見守り などにおいて支援をいただき，安心・安全な学校づくりに貢献していただくことができた。		
P.90	課題				

担当課	指導室	予算額	300 千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	195 千円		
事業名	事業の概要				
コミュニティ・スクール導入等促進事業	コミュニティ・スクールの導入に向けて動き始めた学校や導入して間もない学校に対する支援策を講じ、地域住民等が学校運営に参画するコミュニティ・スクールについて、一層の拡大・充実を図る。				
	実施に向けた取り組み状況・成果・課題				
	3-5-1 P.90	実施状況・成果	2校でそれぞれ年3回、学校運営協議会を開催した。協議会委員の意見を学校運営に生かすことができた。		
	課題	今後、全中学校区への導入を目指す。			

**基本方針4 生涯にわたる市民の学びや文化芸術活動を目指した学習環境をつくりま  
す。**

**【基本施策1】生涯学習社会の実現**

市民が生涯にわたり、いつでも自由に学習を行えるよう、学習の機会の充実を図るとともに、学習成果を地域や社会のなかで発表・活用し、より充実した学習活動となるよう取り組みます。また、各種団体間の連携・協働を支援するとともに、学習環境の整備に努めます。

**基本方向1 生涯学習活動の推進**

- 市民の生涯学習活動を支援するために、生涯学習関連施設や機関等と情報を共有し、市民への提供に努めます。
- 社会教育主事などの専門職員の確保、資質の向上を図るとともに、生涯学習に関わるボランティアや市民活動とのネットワーク化を進め、地域における人材の育成を図ります。「人間力」の回復あるいは向上の視点から生涯学習の推進に取り組むため、生涯学習推進体制の機能の充実に努めます。

目標指標	自主講座団体数						
	平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
153団体	222団体	221団体					160団体

**①生涯学習活動への意識醸成**

担当課	生涯学習課	予算額	175千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	175千円		
事業名		事業の概要			
学習情報を 得る機会の 充実	市が発行する広報紙やホームページなどを通して情報発信を行うとともに、内容の更なる充実を図る。市民が自分に最も適した学習機会を選択できるように、より効果的・効率的な情報発信方法を工夫する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-1 P.93	実施状況・ 成果	実施状況：広報おみたま及び広報おみたまお知らせ版に「生涯学習インフォメーション」「図書館インフォメーション」等のコーナーで情報を発信しており、市のホームページ等でも情報発信を行っている。また、事業によってポスターやチラシ等を作成し周知に努めている。 成果：市民それぞれが情報を得やすい媒体で情報を得て、講座等に申し込んでいただいている。		
	課題	広報やPRの「やりすぎ」はないので、できるかぎりの周知、PRに努めたい。			

担当課	生涯学習課	予算額	4,042 千円	平成30年 度の評価	B
		決算(見込)額	4,014 千円		
事業名	事業の概要				
学習相談体制の充実	市民の要望等に的確に応じられるよう、学習相談体制の充実を図る。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-1 P.93	実施状況・成果	実施状況：小川公民館・美野里公民館・玉里公民館・やすらぎの里小川に社会教育指導員を配置し、市民からの学習要望等に応じられるよう、相談体制をとっている。		
		課題	各館に社会教育指導員が配置されているが、更に相互に連携し指導体制の強化が必要と考える。		

担当課	生涯学習課	予算額	250 千円	平成30年 度の評価	B
		決算(見込)額	223 千円		
事業名	事業の概要				
市民講座等の内容充実★	市民のリクエストによる講座だけでなく、新たな社会的ニーズを反映させた市民講座等を開講する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-1 P.93	実施状況・成果	実施状況：国際化に対応した講座として、英語・中国語の講座を開講し、毎回多くの受講生に参加いただいている。 成果：英会話の受講生が前期・後期で40名おり、中国語については自主講座として市民講座から移行して続いている。		
		課題	芸術や文化の講座だけでなく、今後は地域の防災意識を高める講座等を開講できるよう検討していく必要がある。		

担当課	生涯学習課	予算額	— 千円	平成30年 度の評価	B
		決算(見込)額	— 千円		
事業名	事業の概要				
障がい者に関する学習機会の充実	障がい者が生涯学習に触れる機会の充実を目指すとともに、障がい者の学習を支援する人員の育成を図る。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-1 P.93	実施状況・成果	実施状況：現在のところ障がい者の参加に特化した講座や教室などは行っていない。 今後、専門職のアドバイスや実施している市町村を参考に障がい者と共生できるよう取り組んでいきたい。		
		課題	障がい者の生涯学習支援の体制づくりが急務であるため、障がい者担当部署と連携し進める必要がある。		

## ②自主講座など市民主体の学習活動の支援

担当課	生涯学習課	予算額	— 千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	— 千円		
事業名		事業の概要			
自主講座団 体育成★	市民講座を終了した受講生が主体となり企画・運営し講座を開設することで、新たな仲間づくりや生涯学習活動への機会を提供する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-1 P.93	実施状況・ 成果	<p>実施状況：市民講座を終了した受講生が自主講座を開設するにあたって、企画運営の支援をしている。 現在221団体が活動している。【小川公民館(58団体) 美野里公民館(95団体) 玉里公民館(51団体) やすらぎの里(17団体)】</p> <p>成果：受講生はいきいきと講座を行っており、文化協会祭や市文化祭など積極的に参加している。</p>		
	課題				

担当課	生涯学習課	予算額	56千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	56千円		
事業名		事業の概要			
出前講座	市民団体またはグループが選んだテーマやメニューに沿って、団体等が主催する学習活動の場に、専門的な知識や技術を持った講師を派遣し、お話や学習の手ほどき等を行う。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-1 P.93	実施状況・ 成果	<p>実施状況：人材バンクに登録している講師を活用した「出前講座メニュー」を作成し、団体が行うテーマやメニューにあった講師を派遣している。</p> <p>効果：地区で行う敬老会や学習活動の場で出前講座を活用し、楽しみながら学ぶことができている。</p>		
	課題	出前講座の制度について認知度が低いため、広報紙等で周知していきたい。			

担当課	生涯学習課	予算額	再掲56千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	再掲8千円		
事業名		事業の概要			
老人クラブ への支援	高齢者の生きがいづくりに向けた学習意欲向上を図るため、各老人クラブで行う研修会、講座等の開催への支援を通じて高齢者の生涯学習環境を整える。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-1 P.93	実施状況・ 成果	<p>実施状況：「出前講座メニュー」を作成し、各老人クラブからの要望に応えられるよう支援体制を整えている。</p> <p>30年度は老人クラブから1件（フラワーアレンジメント）の講師の要望があった。</p>		
	課題	もっと活用してもらえるように、出前講座の内容の充実を図り、PR活動及び周知を広めることが必要である。			

### ③生涯学習情報の提供

担当課	生涯学習課	予算額	175千円	平成30年度の評価	B
		決算(見込)額	175千円		
事業名	事業の概要				
市民への学習情報の提供	市の広報紙・ホームページ・チラシ・新聞など、各種メディアを活用しながら、様々な講座の情報など学習情報の提供を積極的に行う。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-1	実施状況・成果	<p>実施状況：広報おみたま及び広報おみたまお知らせ版に「生涯学習インフォメーション」「図書館インフォメーション」等のコーナーで情報を発信しており、市のホームページ等でも情報発信を行っている。また、事業によってポスターやチラシ等を作成し周知に努めている。</p> <p>成果：市民それぞれが情報を得やすい媒体で情報を得て、講座等に申し込んでいただいている。</p>		
P.93	課題	広報やPRの「やりすぎ」はないので、できるかぎりの周知、PRに努めたい。			

#### 基本方向2 学習機会の充実

○ 市民が必要とする「いろいろな」学習機会に触れることができるよう、市民のライフスタイルやニーズを把握し、各種講座・研修など学習機会の充実を図り、市民自らの意識を高め、市民同士が相互に学びあえる環境を提供することを目指します。

目標指標	市民講座[定期]の講座数					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
33講座	35講座	35講座				41講座

#### ①ライフステージに応じた学習機会の提供

担当課	生涯学習課	予算額	100千円	平成30年度の評価	B
		決算(見込)額	90千円		
事業名	事業の概要				
親子体験講座[親子移動教室]	夏休み期間等を利用し、親子・家族・友人等を対象に、様々な体験講座を実施する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-2	実施状況・成果	<p>実施状況：夏休み期間中に親子、または、祖父母や友人とともに参加できる体験講座や教室を実施している。</p> <p>成果：7月に親子体験講座として、マジック、和太鼓、ダンス、リコーダー、着付け、おりがみ教室、星を観る会などを行い176名の参加があった。また、8月に親子15組が製菓工場(栃木県小山市)、さいたま水族館(埼玉県羽生市)を研修した。研修先での参加者同士の交流も多数見受けられたが、車内(バス)でも子と保護者の交流する空間と時間を提供することが出来た。</p>		
P.94	課題	講座によって参加者が少ないものがあるため、講座の企画を検討したい。親子移動教室についても参加したくなる研修先の選定に苦慮している。			

担当課	生涯学習課	予算額	800千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	800千円		
事業名	事業の概要				
特別講座	子供たちが将来必要となる知識や経験を身につけるための学習や体験活動を支援する講座を実施する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-2 P.94	実施状況・成果	<p>実施状況：演劇体験講座や笛の音楽隊など子どもの豊かな感性を育てる講座を実施している。 演劇体験講座は22名が参加し30回開催、笛の音楽隊は24名が参加し4回ワークショップを開催した。 成果：学習の成果を発表することで意欲的に取り組むことができた。</p>		
		課題	初心者の参加者が技術的についていけなくなってしまう。		

担当課	生涯学習課	予算額	— 千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	— 千円		
事業名	事業の概要				
ふれあい事業[わんぱく教室]	夏休み期間を利用し、児童の体験学習を実施する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-2 P.94	実施状況・成果	<p>千葉県柴山町「航空科学博物館」で体験学習を行うにあたり広報紙で周知し30名の募集に対し26名の参加により実施した。 科学館の見学や紙飛行機の作成などを行い有意義な体験学習になった。</p>		
		課題	参加者が美野里地区に限られてしまったため、広範囲に参加を呼びかけたい。		

担当課	生涯学習課	予算額	390千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	382千円		
事業名	事業の概要				
高齢者大学★	60歳以上の人を対象に、実生活に即した教養の向上や、趣味の活動、社会参加による生きがいを高めることを目的として、移動教室・講演会等を実施する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-2 P.95	実施状況・成果	<p>年齢にふさわしい社会的意識を高め、生涯に渡って健康で生きがいを持って生活できるよう実施しており、クラブ活動・学習会・移動教室・講演会・講話等、ニーズに沿った内容を検討し、より多くの高齢者が参加できるよう事業を実施している。 どの講座も参加者が生き生きと受講しており、生きがいづくりとして充実した事業となっている。</p>		
		課題	各公民館単位で事業展開しているが、活動内容や事業運営に相違する部分が見受けられる。		

担当課	生涯学習課	予算額	515千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	513千円		
事業名	事業の概要				
ふれあい事業 [自然観察 教室]	市民が自然観察を通して、自然に触れ自然の大切さを確認し、自ら環境保全への理解を深める機会を提供するため、自然観察教室を実施する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-2	実施状況・ 成果	美野里山の会の協力のもと福島県五色沼ハイキングコースにおいて自然観察教室を行った。広報紙において120名募集し、117名の参加により実施した。参加者からのアンケートでは自然にふれコースも満足したとの声が多かった。		
P.95	課題	参加者が固定化され、また高齢化しているため、新たな参加者の開拓が必要になる。			

## ②時代のニーズに応じた学習機会の提供

担当課	生涯学習課	予算額	3,080千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	2,894千円		
事業名	事業の概要				
市民講座[定期]★	市民ニーズや要望に合った定期講座を開設する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-2	実施状況・ 成果	実施状況：小川公民館，美野里公民館，羽鳥公民館，羽鳥ふれあいセンター，農村女性の家，農村改善センター，玉里公民館において、地域性やニーズにあった講座を開講している。（小川10講座，美野里14講座，玉里11講座） 成果：講座終了後、継続して学ぶため、自主活動グループを結成し活動している。		
P.95	課題	パンフレット等で周知しているが、参加する人が固定される傾向にある。			

担当課	生涯学習課	予算額	190千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	100千円		
事業名	事業の概要				
市民講座[短期]	定期（長期）での参加が難しい市民や、きっかけがつかめず参加し損なった市民などが、参加しやすい内容・期間の講座を開設する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-2	実施状況・ 成果	実施状況：短期で学べる講座を公民館ごとに企画し、気軽に生涯学習に取り組める講座を開講している。 小川公民館5講座，美野里公民館3講座，玉里公民館2講座を実施した。 成果：短期の講座のため、誰でも参加しやすく、生涯学習の取り組みのきっかけになった。		
P.95	課題				

### 基本方向3 学習成果の活用

○ 市民が生涯学習で得た知識や技能を展示会等で発表したり，ボランティア活動や市民活動に生かすなど，地域における課題の解決やまちづくりに生かせる機会を創出します。

目標指標	人材バンクの登録者数					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
34名	35名	38名				37名

#### ①学習成果を地域で生かせる機会の創出

担当課	生涯学習課	予算額	—	千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名		事業の概要				
人材バンクの登録★	生涯学習人材バンクの利用を促進するとともに，地域で活躍する新たな人材の確保に努める。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・成果	実施状況：人材バンクに登録している講師を活用した「出前講座メニュー」を市ホームページに掲載し，各グループや行政区等の学習機会やイベントで活用していただいている。				
4-1-3	課題	新たな人材の確保に努めたい。				
P.96						

#### ②学習成果の発表機会の支援

担当課	生涯学習課	予算額	—	千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名		事業の概要				
作品展の開催	市民講座終了後に，学習成果を発表できるよう作品展を開催する。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・成果	実施状況：文化祭や文化協会祭に作品を出品し展示している。また，美野里公民館において，市民講座参加者64名により作品展を開催した。 成果：作品展出品が受講生の励みになっており，熱心に製作に取り組んでいる受講生が多数見受けられた。				
4-1-3	課題	講座終了の作品展を小川公民館，玉里公民館にも広めていきたい。				
P.96						

#### 基本方向4 各種団体の活動支援と指導者の育成

- 生涯学習活動の担い手である各種機関・団体と連携を図り、多様化する課題を把握・整理するとともに、情報を共有し課題解決に向けて取り組みます。
- 生涯学習事業の企画・運営、及び市民の学習相談への対応を含め、学習の成果を生かした活動などを支援する指導者を発掘・育成していきます。

目標指標	指導者の育成（会議開催回数）					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
2回	2回	2回				4回

#### ①各種団体の連絡体制の構築及び強化

担当課	生涯学習課	予算額	—	千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
生涯学習活動関連機関・団体等との連絡体制の構築・強化★  4-1-4 P.97	市民の生涯学習活動を支えるため、各種生涯学習施設や学校、地域の団体、市民活動団体等が相互のネットワークを強化し、協働による体制づくりを行う。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・成果	実施状況：ネットワーク作りのための会議等は特別実施しておらず、文化祭や文化協会祭等団体が一同に会する機会を交流やネットワークの構築の場としている。				
	課題	文化祭や文化協会祭に参加していない団体とのネットワークが構築されていない。				

#### ②指導者の発掘及び育成

担当課	生涯学習課	予算額	—	千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
指導者の育成★  4-1-4 P.98	自主講座団体の代表者会議を開催し、指導者の育成及び人材交流の機会を設ける。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・成果	実施状況：美野里公民館では、95の自主講座団体のうち78名、玉里公民館では、51自主講座団体のうち23名が参加して、代表者会議を行い情報交換や交流を図った。 成果：指導者の育成及び交流の機会を設けることで、ネットワークづくりや地域づくりに貢献できた。				
	課題	多くの代表者に参加してもらえるようにしていきたい。				

担当課	生涯学習課	予算額	4,042千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	4,014千円		
事業名	事業の概要				
社会教育主事，社会教育指導員の活用	市民が生涯学習活動に際して専門的技術的な助言・指導を受けられるよう，社会教育主事，社会教育指導員の適切な配置，活用に努める。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-4 P.98	実施状況・成果	実施状況：社会教育主事1人，社会教育指導員を4人配置し，専門的技術的な助言や指導を受けた。 成果：職員のみでは実施が難しい事業も，社会教育指導員の指導を受けながら実施している。		
		課題	生涯学習課への社会教育主事の配置が少ない。		

### 基本方向5 学習環境の整備・充実

○ 市民が積極的に生涯学習活動の場として各種施設を利用するために，市民のニーズに沿った施設の整備・施設利用のあり方等について検討し，活動しやすい環境の充実に努めます。

○ 施設までの移動手段の利便性を高めたり，市民が必要とする学習情報をよりわかりやすく総合的に提供する体制の整備に努めるなど，各種学習環境の整備を進めます。

#### ①施設・設備の充実

担当課	生涯学習課	予算額	8,293千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	8,198千円		
事業名	事業の概要				
施設・設備の充実★	施設の耐震診断の実施，老朽化した施設の修繕等，施設の整備のあり方を検討する。また，生涯学習活動に必要な備品や設備を整えることにより，市民が活動しやすい学習環境をつくる。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-5 P.99	実施状況・成果	実施状況：各施設とも老朽化し，修繕箇所が多くなっているため，利用者が安心して利用できるように，緊急性のある所から整備を行っている。 成果：小川4件，美野里10件，玉里23件，やすらぎの里5件，しみじみの家2件の修繕・工事を行った。		
		課題	施設の老朽化で修繕箇所が多く予算の確保が難しい。		

担当課	生涯学習課	予算額	38,181千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	37,475千円		
事業名	事業の概要				
生涯学習施設 の管理運営	利用しやすく安全な施設となるよう、適切な施設管理を実施する。施設機能を充実するための運営体制づくりを行う。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-5 P.99	実施状況・ 成果	実施状況：小川公民館，美野里公民館，羽鳥公民館，羽鳥ふれあいセンター，農村女性の家，改善センター，玉川学習等供用施設，やすらぎの里，生涯学習センター，民家園，しみじみの家など施設の管理業務を委託し，定期検査，点検，見回り等を随時実施している。		
		課題	施設の老朽化等のため，検査での指摘箇所や修繕が必要な箇所が多く見受けられ管理に苦慮している。		

### ②施設の利用促進

担当課	生涯学習課	予算額	— 千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	— 千円		
事業名	事業の概要				
施設利用に 関する情報 の提供	施設の空き状況や利用申請書等のダウンロード，利用申請書提出日等の情報提供により，施設利用者への支援を行う。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-5 P.99	実施状況・ 成果	実施状況：施設の部屋と利用料などは，ホームページに掲載し，利用申請については，公民館が1ヶ月前から受け付けています。自主講座の利用申請は，2ヶ月前から受け付け可能とし，活動を支援しています。文化ホール，しみじみの家については，半年前から受付可能としています。		
		課題	ホームページの下の階層にいかなければ申請書を見つけられないため，もう少しわかりやすくなるよう改善したい。		

### ③市内外の学習情報の収集と発信

担当課	生涯学習課	予算額	— 千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	— 千円		
事業名	事業の概要				
掲示物の収 集及び設置	市内外の学習機会等に関するパンフレットやチラシを収集し，市民が気軽に情報を入手できるよう生涯学習施設等に掲示・配布する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-1-5 P.99	実施状況・ 成果	実施状況：市内外の催し物のチラシやパンフレットを，各公共施設のロビー等に掲出している。		
		課題	スペースが少ないため，掲出に苦慮している。		

**基本方針4** 生涯にわたる市民の学びや文化芸術活動を目指した学習環境をつくりま  
す。

**【基本施策2】知識の醸成と価値創造の場の充実**

市民の人生をより豊かなものにするための読書活動を推進します。また、図書館サー  
ビスの充実を図ります。

**基本方向1 読書活動の推進**

○ 市民がより豊かな知識を享受することができるよう、それぞれのステージに応じた  
本に親しむ機会を提供します。

目標指標	図書館講座					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
—	2講座	4講座				3講座

**①大人の読書活動の推進**

担当課	生涯学習課	予算額	136千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	136千円		
事業名		事業の概要			
図書館講座 ★		市民の図書館利用促進のため、テーマに沿った講師を呼び、図書館を利用した講座や講演会を開催する。			
		実施状況・成果・課題			
	4-2-1	実施状況・ 成果	小川図書館において、親子ふれあい絵本とヨガの出会い、ガラスアート講座の2講座で4日間、玉里図書館において、おりがみ教室、子ども図書館員体験の2講座で5日間開催し、129名の参加があった。また絵本作家の深山さくら氏を講師として読み聞かせ講演会を開催し、131名の参加があった。		
P.100	課題	図書館利用促進のためのテーマ選択が難しい状況となっている。			

**②子供の読書活動の推進**

担当課	生涯学習課	予算額	288千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	18千円		
事業名		事業の概要			
図書館まつり		各図書館の認知度を高めるとともに、ボランティア組織による読み聞かせ等の活動の紹介、本に親しむ機会の提供を図る。			
		実施状況・成果・課題			
	4-2-1	実施状況・ 成果	小川図書館、玉里図書館の各館において図書館まつりを開催しボランティア組織によるおはなし会、DVD上映会、クイズラリー等の催事並びに除籍本の配布を行い小川図書館306名、玉里図書館198名、合計504名の来館者があった。		
P.101	課題	実施場所の状況によりまつり内容が固定化しているため新たな催事の内容を検討する必要がある。			

担当課	生涯学習課	予算額	再掲270千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	270千円		
事業名	事業の概要				
おはなし会 ★	乳幼児の豊かな感受性と創造力を養うとともに、本を読むことの楽しさを伝えるため、おはなし会を実施する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-2-1 P.101	実施状況・成果	ボランティア組織により小川図書館において毎月第2第4土曜日、玉里図書館において毎月第3土曜日、美野里公民館において毎月第4土曜日におはなし会を開催した。参加者は845名。		
		課題	参加者が減少傾向のため参加者拡大の推進が必要となってきたている。		

担当課	生涯学習課	予算額	529千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	461千円		
事業名	事業の概要				
ブックスタート★	生後4～5か月児の健診時に絵本のプレゼントと絵本の読み聞かせを行う。				
	実施状況・成果・課題				
	4-2-1 P.101	実施状況・成果	市内各保健センター等で実施される4～5ヶ月児検診時にブックスタートボランティアの絵本の読み聞かせとあわせて本のプレゼントを行った。実施者は299名。		
		課題	ブックスタートボランティアが高齢化等のため減少しているため新たな人材の発掘育成が必要となってきたている。		

## 基本方向2 図書館サービスの充実

- ボランティアによる活動を支援するとともに、人材の発掘及び育成に取り組みます。
- 市民の学習意欲を支援する施設として、市民のニーズに応えた蔵書・サービスを提供するため、県立図書館等との連携により提供できる図書の拡充に努めるとともに、資料の適切な管理・収集を行います。
- 市民が誰でも使いやすい図書館となるよう、市民の学習意欲に応える相談やアドバイスなどを充実させるとともに、ユニバーサルデザイン等に配慮した施設・整備を行います。

目標指標	郷土資料のデジタル化数					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
—	0点	0点				10点

①図書資料やレファレンスサービスの充実

担当課	生涯学習課	予算額	8,500千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	再掲 小川192千円 玉里50千円 美野里292千円 (図書購入費8,500千円内数)		
事業名		事業の概要			
図書等リクエスト	市民ニーズに対応するため、市民が読みたい図書のリクエストに応え、蔵書の整備を実施する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-2-2 P.102	実施状況・成果	図書等のリクエストサービスとして利用者の要望に対するため相互貸借と併せて図書の購入を行った。リクエストによる購入冊数は小川図書館161冊，玉里図書館28冊，美野里公民館図書室247冊。		
		課題	リクエストサービスの存在を周知するとともに，市民のニーズを把握し，リクエスト以前に図書館資料を収集する選書を行う必要がある。		

担当課	生涯学習課	予算額	— 千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	— 千円		
事業名		事業の概要			
レファレンスサービス★	市民の学習や研究，調査に必要な情報・資料の収集を支援するため，レファレンスサービスを実施する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-2-2 P.102	実施状況・成果	市民の学習や研究，調査に必要な情報・資料の収集を支援するため，延べ2,113件のレファレンスサービスを実施した。		
		課題	市民に対する確かなレファレンスサービスを提供するため，すべての館において図書館司書の配置が必要である。		

担当課	生涯学習課	予算額	— 千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	— 千円		
事業名		事業の概要			
相互貸借サービス	県立図書館のほか，県内各図書館との相互貸借サービスを実施する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-2-2 P.102	実施状況・成果	図書等リクエストサービスとして利用者の要望に対応するため，相互貸借サービスとして県立図書館のほか，県内各図書館に対して202点の貸出と389点の借受を行った。		
		課題	さらなる利用拡大のために相互貸借サービスとあわせ，予約・リクエストサービスの周知が必要である。		

担当課	生涯学習課	予算額	車検193千円燃料171千円	平成30年 度の評価	B
		決算(見込)額	車検164千円燃料50千円		
事業名	事業の概要				
移動図書館 サービス	図書館を利用しにくい市民でも本に親しむことができるよう、保育園や福祉施設等を巡回する移動図書館を実施する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-2-2 P.102	実施状況・ 成果	地域巡回2コースをそれぞれ隔週木曜日、小学校1校第1第3水曜日に巡回し移動図書館サービスを実施した。地域において延べ1,082名・5,444冊小学校において延べ294名・1,079冊の利用があった。		
		課題	利用者の固定化が進んでいるため利用者拡大の方策が必要である。また、車両の老朽化が進んでいる。		

## ②図書館等のボランティアの発掘・育成

担当課	生涯学習課	予算額	— 千円	平成30年 度の評価	B
		決算(見込)額	— 千円		
事業名	事業の概要				
ブックスタートボ ランティアの 育成★	ブックスタートを推進するにあたり、絵本の読み聞かせ等を行うボランティアを、年間を通して募集し研修を行う。				
	実施状況・成果・課題				
	4-2-2 P.103	実施状況・ 成果	ブックスタートを推進するにあたり、絵本の読み聞かせ等を行うボランティアを年間を通して募集を行った。		
		課題	ボランティアスタッフが高齢化等のため、減少しているため新たな人材の発掘育成が必要となってきた。		

担当課	生涯学習課	予算額	— 千円	平成30年 度の評価	B
		決算(見込)額	再掲100千円		
事業名	事業の概要				
読み聞かせ 講座★	おはなし会などの読み聞かせ活動を行うにあたり、ボランティアに対し、読み聞かせ講座を実施し、活動の活発化とグループ化を促進する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-2-2 P.103	実施状況・ 成果	講座としての実施ではなかったが、絵本作家の深山さくら氏の読み聞かせ講演会において、作家と読み聞かせ団体の交流会を行った。絵本作家と身近に接したことで読み聞かせの手法について活発な意見が交わされ、それぞれの活動において意欲の向上が見られた。参加者33名。		
		課題	定期的な読み聞かせ講座の開催について検討する必要がある。		

担当課	生涯学習課	予算額	— 千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	— 千円		
事業名	事業の概要				
図書館ボランティアの育成	図書館事業を推進するにあたり、図書館の仕事に興味があり、図書館の活動を支援するボランティアの発掘・育成を図る。				
	実施状況・成果・課題				
	4-2-2	実施状況・成果	絵本の読み聞かせ講演会は、図書館協議会委員によりボランティアの実行委員会が組織され実施された。普段は本を借りるだけの委員もいたが本事業のボランティアとして運営を行ったことで図書館に対する関心がより高まった。さらに、読み聞かせ団体に所属することとなった委員もいた。		
P.103	課題	図書館ボランティア等として、参加してもらえるような受け入れ態勢を作っていくことが必要である。			

### ③資料の適切な整理・保管・保存

担当課	生涯学習課	予算額	8,500千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	8,500千円		
事業名	事業の概要				
図書館資料の適切な管理	計画的な図書資料等の収集・受入・分類・配架・保存を行い、図書館資料の整備・充実を図る。				
	実施状況・成果・課題				
	4-2-2	実施状況・成果	各図書館で資料が必要以上に重複しないように調整をしつつ収集を行った。情報の古いもの、今後利用が見込めないものについては除籍を行い、図書資料の新陳代謝を図った。図書購入数5,066冊，除籍数5,307冊。		
P.103	課題	利用者のニーズが多様化する中、図書購入費が年々減少傾向にある。また、書架の収容能力には限界があるため今後も定期的な除籍が必要である。			

担当課	生涯学習課	予算額	— 千円	平成30年 度の評価	C
		決算（見込）額	— 千円		
事業名	事業の概要				
郷土資料のデジタル化★	地域の歴史や文化を後世に残すため、資料のデジタル化を目指す。				
	実施状況・成果・課題				
	4-2-2	実施状況・成果	実施なし		
P.103	課題	資料のデジタル化に対して著作権や資料所有者等の同意の必要性などの課題がある。			

④施設機能や設備の整備

担当課	生涯学習課	予算額	93千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	91千円		
事業名	事業の概要				
施設の整備 ★	施設の安全点検に基づき、必要な修繕を行うとともに、ユニバーサルデザインを取り入れた計画的な更新を行う。				
	実施状況・成果・課題				
	4-2-2 P.103	実施状況・ 成果	図書館施設の不都合箇所（照明器具，ドア）の修繕を行い，利用しやすい施設となるよう館内は，季節感を盛り込んだ飾り付けを行った。		
	課題	要望のある飲食等スペースの設置について，検討の必要がある。			

**基本方針4 生涯にわたる市民の学びや文化芸術活動を目指した学習環境をつくりま  
す。**

**【基本施策3】文化芸術の創造・発信**

市民の文化芸術活動の充実に努めるとともに、文化芸術に触れる機会を提供します。また、文化財や地域に根ざした伝統文化の保護・保存に努めるとともに、その積極的な活用により郷土への愛着を育みます。

**基本方向1 文化芸術活動の充実**

○ 音楽や演劇など、市民の文化芸術活動の活性化を図るとともに、プロのアーティストの活用を進めながら、地域の実情に応じた文化芸術を推進するなど、小美玉らしい文化芸術を創造・発信します。

○ まちの歴史の財産である文化財や無形民俗文化財などを地域のボランティア団体等の協力を得ながら適切に保存・活用し、地域の歴史・文化を継承していきます。

目標指標	市内3館の委員会や文化ボランティアなどの住民参画者数					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
398人	コスプロ10人	コスプロ11人				450人

**①文化芸術活動の充実**

担当課	生涯学習課	予算額	450千円	平成30年度の評価	B
		決算(見込)額	450千円		
事業名	事業の概要				
住民劇団・住民楽団の支援	市民が文化活動へ参加するきっかけづくりや参加しやすい環境を整えることにより、市民自らが音楽や舞台芸術をつくり上げるなど、市の文化芸術の向上に努める。				
	実施状況・成果・課題				
	4-3-1	実施状況・成果	実施状況：2008年に小美玉市を会場に開催された国民文化祭演劇祭に参加するために結成された「演劇Crew Cosmo's」が、2009年から活動の場を生涯学習センターコスモスに移し活動を継続しており、演劇ワークショップ等を開催しながら劇団を支援している。「演劇Crew Cosmo's」から、映画女優を輩出している。 成果：演劇に興味がある子ども達の受け皿や、子ども達の居場所づくり、異年齢の子ども達の交流の場となっている。		
P.104	課題	小中学生の男性の参加者が少ない。(平成30年度は0名)			

## ②歴史・文化関係団体の支援

担当課	生涯学習課	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
指導者の育成・情報提供	指導者講習会の開催や団体相互の情報交換のためのネットワークづくりにより、歴史・文化団体の活動の充実を図る。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・成果	市内の歴史サークルおよびボランティアグループ（玉里御留川研究会・小川郷土文化研究会・小美玉市古文書研究会・玉里の史跡と自然を護る会）に対して、講師派遣や資料提供を行った。				
4-3-1 P.105	課題	団体間での情報交換の機会や成果の発表の場を検討する必要がある。				

### 基本方向2 文化財の保護と史・資料館の充実

- 市指定文化財等について、保存・修理等を推進するとともに、周知や情報発信などにより活用を図ります。
- 開発事業等にもともなう埋蔵文化財行政については、「把握・周知」、「調整」、「保存」「活用」を重視した保護体制を整備します。
- 調査・研究の成果を反映した展示会や市民ニーズに即した教育普及事業を推進します。
- 郷土芸能や無形民俗文化財、地域の伝統行事を保存・継承します。

目標指標	特別展・企画展等の開催数					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
3回	2回	2回				維持

## ①文化財等の適正な保存・管理

担当課	生涯学習課	予算額	6,163	千円	平成30年 度の評価	A
		決算（見込）額	5,847	千円		
事業名	事業の概要					
文化財の適正な保存・活用	地域の歴史を伝える大切な文化財を適正に維持し、市民が親しめるよう活用していくため、文化財の周辺の除草作業や看板の設置等を行う。開発等の工事にもともなう試掘調査及び発掘調査を行う。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市指定文化財が適正な管理が行われているかを確認するために建造物、史跡および天然記念物の巡視活動を実施した。</li> <li>・土木工事等に伴う埋蔵文化財の取り扱いでは、照会260件、試掘調査33件、記録保存のための発掘調査3件(稻荷前遺跡・羽鳥館跡・宮平遺跡)を実施し、埋蔵文化財の保存に努めた。</li> <li>・文化財の活用で面は、よりよい見学環境の整備のため、史跡周辺での草刈りの委託業務等や文化財の説明看板(舟塚古墳・永福寺・地蔵塚古墳)の設置を行った。</li> </ul>				
P.106	課題	文化財説明看板の更新作業が間に合わない状況である。				

担当課	生涯学習課	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
収蔵施設の 確保★	収蔵品及び図書等の整理・分類に努める。収蔵施設を確保し、適正な保存、収蔵品の種類に応じた一括管理を行う。					
	実施状況・成果・課題					
	4-3-2 P.106	実施状況・ 成果	新規に収蔵された資料は、収納箱に入れて、平積みになっている状況である。			
		課題	現状の収蔵施設では、収蔵しきれないため、早急に新たな施設を確保する必要がある。			

## ②展示内容・館外活動の充実

担当課	生涯学習課	予算額	300	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	297	千円		
事業名	事業の概要					
常設展示リ ニューアル 事業★	地域の歴史や文化を次代に伝えるため、分かりやすく充実した常設展示にリニューアルする。					
	実施状況・成果・課題					
	4-3-2 P.106	実施状況・ 成果	玉里史料館では、玉里の歴史を紹介する映像システムに不具合があったため、機器の更新を行った。また、漁具の民具資料を新設した。			
		課題	小川資料館と玉里史料館の抜本的なリニューアル計画の策定を行う必要がある。			

担当課	生涯学習課	予算額	200	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	44	千円		
事業名	事業の概要					
特別展・企 画展等の開 催	市民ニーズや日頃の調査研究成果を反映した特別展・企画展を開催する。					
	実施状況・成果・課題					
	4-3-2 P.106	実施状況・ 成果	玉里史料館において、史料館ケースギャラリー展「発掘調査おみたま」平成28・29年度遺跡調査紹介展を開催して、487名の入館者があった。また、同展を四季健康館ギャラリーで巡回展として開催した。 生涯学習センターにて開催された「小美玉市環境フェスティバル」において、舟運や玉里御留川をテーマとした「霞ヶ浦の歴史展」で214名の参加者があった。			
		課題				

担当課	生涯学習課	予算額	85千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	76千円		
事業名	事業の概要				
教育普及事業の実施	館外活動として、昔の人々の暮らしを学ぶ体験学習や史跡巡りなどの歴史探訪講座等の教育普及事業を実施する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-3-2 P.106	実施状況・成果	歴史探訪講座「明治150年」－宇都宮にみる戊辰戦争の舞台－を開催し、20名の参加者があった。また、戦争体験を次世代に伝えるために「第4回 戦争体験講演会」を玉里文化ホールにて開催した。参加者は350名であった。		
		課題	「戦争体験講演会」は講演者の高齢化もあり、講演方法など新たな形を模索していく必要がある。		

### ③調査成果の公表及び活用

担当課	生涯学習課	予算額	540千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	443千円		
事業名	事業の概要				
史料館報の刊行	市内の文化財や歴史資料について、調査・研究の成果を史料館報として刊行する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-3-2 P.106	実施状況・成果	実施状況：小美玉市史料館報第13号を刊行した。 第1部 年報（平成29年度） Ⅰ. 事業報告 Ⅱ. 利用状況 Ⅲ. 管理および運営第 2部 資料紹介 500部		
		課題	資料紹介を依頼する研究者が不足している状況がある。		

担当課	生涯学習課	予算額	－ 千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	－ 千円		
事業名	事業の概要				
埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行	開発等にもなう埋蔵文化財の発掘調査報告書を刊行する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-3-2 P.106	実施状況・成果	小美玉市埋蔵文化財調査報告書第6集『羽鳥館跡』-宅地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書-を刊行した。		
		課題	発掘調査終了後、3年を目安に「発掘調査報告書」を作成することを県教育委員会から指導されているが、未刊となっている報告書がある。		

担当課	生涯学習課	予算額	50千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	39千円		
事業名	事業の概要				
出土品展の 開催★	発掘調査等で出土した遺物を展示する速報展を開催する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-3-2 P.106	実施状況・ 成果	玉里史料館において、史料館ケースギャラリー展「発掘調査おみたま」平成28・29年度遺跡調査紹介展を開催して、487名の入館者があった。		
		課題			

#### ④地域文化・伝統の継承

担当課	生涯学習課	予算額	40千円	平成30年 度の評価	A
		決算（見込）額	40千円		
事業名	事業の概要				
郷土芸能保 存会への支 援	郷土芸能保存会の活動が活発に行われるように支援する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-3-2 P.107	実施状況・ 成果	美野里町郷土芸能保存会に対して、活動補助金を交付して支援を行った。		
		課題	市民を対象とした発表の場を提供する必要がある。		

担当課	生涯学習課	予算額	100千円	平成30年 度の評価	A
		決算（見込）額	100千円		
事業名	事業の概要				
民俗文化財 保護活動へ の支援	市内に残るお囃子や神輿などの民俗文化財の保護を行う保存会の活動が活発に行われるように支援する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-3-2 P.107	実施状況・ 成果	堅倉ばやし保存会、竹原神社神輿保存会、羽鳥囃子保存会および素鷲神社祇園祭に対して、民俗文化財保護活動補助金を交付して支援を行った。		
		課題	市民を対象とした発表の場を提供する必要がある。		

### 基本方向3 市民の文化芸術に触れる機会の充実

○ 市内の文化ホール3館がそれぞれの特徴を生かした自主事業を展開するとともに、学校と連携しながら、子供たちを対象とした学校芸術鑑賞や学校アクティビティ事業等を推進していきます。

○ 今後、更に市民が、文化ホールに足を運ぶ機会を増やすため、関心の高い市民はもとより文化芸術に対して無関心な層にも受け入れられるように、多様な企画の創出や広報の充実を図っていきます。

目標指標	各サポーターの住民参画者数					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
212人	コスモス7人	コスモス8人				230人

#### ①文化芸術に触れる機会の提供

担当課	生涯学習課	予算額	1,400千円	平成30年度の評価	B
		決算(見込)額	1,400千円		
事業名		事業の概要			
育成事業★	芸術や文化活動を担う人材や団体を育成する。				
	実施状況・成果・課題				
	4-3-3 P.108	実施状況・成果	実施状況：玉里創作太鼓同好会（和太鼓），演劇Crew Cosmo's（演劇），笛の音楽隊ピッコロ（リコーダー）の活動拠点として，各団体の育成に力を入れている。 成果：毎年それぞれの団体が参加した公演やコンサートを開催している。		
		課題	新しい会員を増やすことに苦慮している。		

担当課	生涯学習課	予算額	1,000千円	平成30年度の評価	B
		決算(見込)額	1,000千円		
事業名		事業の概要			
コスモスプロジェクト★	生涯学習活動の推進と文化の振興を図るため，コスモスを中心に，市民が主体となって実施するプロジェクトの支援に努める。				
	実施状況・成果・課題				
	4-3-3 P.108	実施状況・成果	実施状況：生涯学習センターコスモス・しみじみの家・民家園を活性化する目的で結成され，30年度は毎月1回の会議を行いながらコンサートや映画上映会等16の事業を実施した。 成果：コスモスプロジェクトが企画実施する事業に多くの方にご来場いただいております，コスモスの活性化及び生涯学習の推進・文化の振興に寄与している。		
		課題	市民をもっと巻き込むような事業実施のスタイルを作りたい。		

担当課	生涯学習課	予算額	432千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	411千円		
事業名	事業の概要				
文化講演会  4-3-3  P.108	市民が広い視野から文化や教育を展望するような、時代のニーズに合った課題をテーマに講演会を実施する。				
	実施状況・成果・課題				
	実施状況・成果	<p>実施状況：生涯学習に沿ったテーマで著名人による講演会を開催しており、30年度は戦場カメラマン「渡部陽一」氏を講師に迎え、人権問題の視点から「戦場からのメッセージをあなたに～ファインダー越しに見た命の現場～」をテーマに講演会を開催した。</p> <p>成果：著名な方を講師に迎え講演会を開催し、学習の機会を提供することは、生涯学習の充実を図る上で効果的である。</p>			
課題	20代、30代の方がより多く来場していただけるよう検討が必要。				

## ②文化ホール事業の充実（3館）

担当課	生涯学習課	予算額	— 千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	— 千円		
事業名	事業の概要				
サポーター 事業★  4-3-3  P.109	市民の文化芸術活動を支えるボランティア組織を育成・支援する。				
	実施状況・成果・課題				
	実施状況・成果	<p>実施状況：コスモスプロジェクトの事業を支えるため、一般市民によるボランティア組織「コスモスサポーター」を組織し、事業運営のサポートをしている。</p>			
課題	会員が少ないため、「コスモスサポータ」をPRすると共に新しい会員の獲得が必要。				

担当課	生涯学習課	予算額	43千円（コスモスプロジェクトより）	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	43千円（コスモスプロジェクトより）		
事業名	事業の概要				
小美玉市ま るごと文化 ホール計画 推進事業★  4-3-3  P.109	「小美玉市まるごと文化ホール計画」に基づき、3つの文化ホールが連携し、特性を生かすことで、継続して地域住民に親しまれる運営を推進する。				
	実施状況・成果・課題				
	実施状況・成果	<p>実施状況：演劇Crew Cosmo'sでは百里基地で開催した航空祭時に演劇の公演を行った。また、四季健康館にを会場にコスモスプロジェクト主催によるイラン料理教室を開催した。</p> <p>成果：多くの航空祭観覧者に演劇Crew Cosmo'sをPRする良い機会となった。イラン料理教室については、単なる料理の作り方だけではなく、料理を通してイランという国の国民性や日常生活等中東文化にも触れる貴重な機会となった。</p>			
課題	地域に出て行く機会が少ないので、このような機会をもう少し増やしていきたい。				

担当課	生涯学習課	予算額	175千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	175千円		
事業名	事業の概要				
広報戦略事業	文化ホール事業を多くの市民に知らせるために、様々な文化事業に関する情報を発信する。				
	実施状況・成果・課題				
	実施状況・ 成果	実施状況：市広報紙及び市ホームページ・子育てサイト・チラシ等を活用し様々な事業に関する情報を発信している。			
4-3-3 P.109	課題	広報やPRの「やりすぎ」はないので、できるかぎりの周知、PRに努めたい。			

**基本方針5 生涯にわたる市民のスポーツ活動の活性化を目指したスポーツ環境をつくれます。**

**【基本施策1】子供のスポーツ機会の充実**

幼児期から学童期，青年期の子供たちが心身ともに健やかに成長するよう，また，子供の運動・スポーツ活動が豊かなものとなるよう，その充実に総合的に取り組みます。

**基本方向1 幼児期における運動・スポーツ機会の充実**

○ 幼児期からの継続的なスポーツ活動の推進など，子供を取り巻くスポーツ環境の充実に努めます。

目標指標	プレ・すぼ〜つ教室参加者数					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
5,783人	4,439人	4,197人				6,400人

**①幼児期から体を動かす機会づくり**

担当課	スポーツ推進課	予算額	2,472千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	2,014千円		
事業名	事業の概要				
スポーツ教室（水泳教室・親子スキー教室等）	幼児期から学童期まで，子供の年齢や学年に合わせた水泳教室や親子スキー教室等のスポーツ教室を実施する。				
	実施状況・成果・課題				
	5-1-1 P.112	実施状況・成果	水泳教室（小川），サッカー教室，親子スキー教室，トッパアスリートスポーツ教室（講師：岩崎恭子）を実施。リニューアルした小川海洋センターでは，通年で幼児〜児童向けの水泳教室を実施した。 【H30実績】 水泳教室 189名 トッパアスリートスポーツ教室（岩崎恭子） 30名		
	課題	小川海洋センター入口に看板を設置する等，通年利用，教室・講座などさらにPRをする必要がある。			

担当課	スポーツ推進課	予算額	— 千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	— 千円		
事業名	事業の概要				
プレ・すぼ〜つ教室★	子供たちがスポーツに触れ合うきっかけをつくとともに，運動好きの子供を育て，意欲や主体性，向上心などの醸成を目指す。				
	実施状況・成果・課題				
	5-1-1 P.112	実施状況・成果	総合型地域スポーツクラブである小美玉スポーツクラブへ委託して，走る・跳ぶ・ボール運動・体操など様々なスポーツを実施し，延べ4,197人の参加があった。4歳から小学校6年生までの幼児・児童を4コースに分け，それぞれのレベルに合わせた指導を行った。		
	課題	指導者の育成確保			

②子供が主体的に取り組む仕組みづくり

担当課	スポーツ推進課	予算額	2,900千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	2,827千円		
事業名		事業の概要			
夢先生派康事業★	トップアスリートを夢先生として迎え、夢を持つことの大切さや、スポーツの素晴らしさを学ぶ機会を創出する。				
	実施状況・成果・課題				
	5-1-1	実施状況・成果	小学校（5年生）に加え、今年度から中学校（2年生）でも開催。中学校では、進路選択を控える中、より具体的に将来をイメージする機会をつくり、夢の実現に向け子ども達の背中を押せるような授業が展開できた。 (小学校19学級、中学校13学級 計32学級)		
P.113	課題	継続的な財源の確保			

基本方向2 子供を取り巻くスポーツ環境の充実

○ 総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団などの地域におけるスポーツ活動を支援し、子供たちが気軽に様々な運動・スポーツを体験できる環境の整備・充実に努めます。

目標指標	スポーツ少年団活動支援					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
8種目	7種目	7種目				9種目

①多様なスポーツに取り組める環境づくり（スポーツのきっかけづくり）

担当課	スポーツ推進課	予算額	3,737千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	3,737千円		
事業名		事業の概要			
総合型地域スポーツクラブ活動支援★	総合型地域スポーツクラブの活動を支援し、運動・スポーツをする環境の充実を図る。				
	実施状況・成果・課題				
	5-1-1	実施状況・成果	プレ・すぽ～つ教室を含め7教室を実施。 【H30実績】（参加延べ人数） ・プレ・すぽ～つ教室 4,197名 ・アド・すぽ～つ教室 1,234名 ・野球教室 306名 ・女子サッカー教室 354名 ・フロアホッケー教室 448名 ・男子サッカー教室 5,861名 ・水泳教室 400名		
P.113	課題	会員数は増加傾向にあるが、クラブ認知度はまだ低い状況なので、市民への情報提供をさらに進める必要がある。			

担当課	スポーツ推進課	予算額	872千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	872千円		
事業名	事業の概要				
スポーツ少年団活動支援★	スポーツ少年団の活動を支援し、運動・スポーツをする環境の充実を図る。				
	実施状況・成果・課題				
	5-1-1 P.113	実施状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の資質向上のための指導者研修会及び各少年団の親交を深めるために陸上交流大会等を開催。</li> <li>・各少年団の運営を支援するため助成金を交付。 (サッカー、バスケ、野球、剣道等7種目、24団体が登録)</li> </ul>		
	課題	少年団の要望により研修会を実施しているが、団の指導方針や種目が異なるため、研修内容の工夫が必要である。			

**基本方針5 生涯にわたる市民のスポーツ活動の活性化を目指したスポーツ環境をつくりまします。**

**【基本施策2】生涯スポーツ活動の推進**

若者や働く世代が気軽に参加できる施策の強化、高齢者が地域のなかで安全に健康づくりや運動・スポーツができる環境の充実、そして障がいがある人もない人も、すべての市民が参加できる環境の整備を図ります。

**基本方向1 若者・働く世代に対する運動・スポーツの推進**

○ 健康・体力の保持増進のみならず、ストレス発散や心のリフレッシュにつながる運動やスポーツを日常的に取り組める環境の構築及び、若者・働く世代などそれぞれのライフステージに対応した施策の充実に努めます。

**①若者・働く世代に対する運動・スポーツの推進**

担当課	スポーツ推進課	予算額	—	千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
働く世代を対象としたスポーツ教室★	働く世代が気軽に参加できるように開催時間や開催種目等、ニーズに合ったスポーツ教室を実施し、スポーツ体験活動を行う機会の充実に努める。					
	実施状況・成果・課題					
	5-2-1 P.115	実施状況・成果	ヨガ教室、水泳教室（一般コース・水中ウォーキングフィットネスコース）、ノルディックウォーキング教室、ソーラン節エクササイズ教室を実施。			
	課題	参加者が少ない教室もあったため、参加者のニーズを把握することに努めたい。				

**基本方向2 高齢者に対する運動・スポーツの推進**

○ 高齢者の活動機会の増加や健康・体力の保持につながるよう、各種スポーツ活動等への支援に努めるとともに、各種健診の受診者等に適切な保健指導を行い、生活習慣病の発症・重症化等の予防に努めます。

目標指標	健康づくりを目的とした教室の参加者数（延べ）					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
482人	506人	472人				500人

①高齢者の健康づくりの推進（保健・介護との連携）

担当課	生涯学習課	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
高齢者大学 （スポーツ）★  5-2-2  P.117	実生活に即した教養の向上を図り，趣味活動や社会参加によって生涯にわたり健康で生きがいを持って生活できることを目指した取組を進める。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・成果	高齢者にふさわしい社会的知識を深め，コミュニティを形成し生涯にわたって健康で生きがいを持って生活できる一助として高齢者大学を開催した。そのなかのクラブ活動として，グラウンドゴルフ（5回開催），シルバーリハビリ体操（10回開催）を実施した。				
課題	男性の参加比率が低いように思われる。参加呼び掛けに工夫が必要。					

基本方向3 障がい者に対する運動・スポーツの推進

○ 障がい者スポーツに対する理解・啓発を深めていくとともに，障がいがある人もない人も誰もがスポーツに親しみ，楽しめるよう，環境の整備・充実を図ります。

目標指標	小美玉スポレクデーの参加者数					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
4,378人	4,592人	5,596人				5,900人

①障がい者のスポーツ参加機会の推進

担当課	スポーツ推進課	予算額	—	千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
障がい者スポーツ・レクリエーション教室 （地域生活支援事業）  5-2-3  P.118	障がいがある人もない人も，誰もがスポーツに親しむ機会を創出し，スポーツ・レクリエーション活動を通じた体力向上，交流，余暇活動など，障がい者の社会参加の促進を図る。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・成果	社会福祉課と協力し，小美玉スポレクデーや障がい者スポーツ・レクリエーション教室で，障がいのある人もない人も楽しめるスポーツ・レクリエーション種目を実施した。体力向上，交流，余暇活動など，障がい者の社会参加の促進を図れた。				
課題	上記のイベントや教室の他にも参加できる機会を増やす。					

## ②障がい者スポーツに対する理解・啓発

担当課	スポーツ推進課	予算額	956千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	860千円		
事業名		事業の概要			
障がい者スポーツ体験イベント★	誰もが気軽に参加できるような障がい者スポーツの楽しさや魅力の発信を目的としたスポレクデー等の体験イベントを開催し、相互理解を深める。				
	実施状況・成果・課題				
	5-2-3 P.118	実施状況・成果	小美玉スポレクデーにおいて障がい者スポーツ（卓球バレー・ボッチャ等）を取り入れた。障がいがある人もない人も障がい者スポーツを楽しみ、相互理解を深めた。 【H30実績】（参加延べ人数） 小美玉スポレクデー 5,596名		
	課題	参加種目の拡充，新種目の取組みに当たり人材育成と財源確保			

### 基本方向4 スポーツ活動情報等の提供

○ 市民が生涯にわたり、運動やスポーツ活動に気軽に取り組むことができるよう、イベント・教室等の情報を適切な媒体で積極的に発信していきます。

目標指標	お友達登録者数（累計）					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
1,832人	2,056人	2,173人				3,000人

### ①イベント・教室等の情報提供の拡充

担当課	スポーツ推進課	予算額	— 千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	— 千円		
事業名		事業の概要			
LINEを利用した情報発信★	積極的に情報を求めている市民に対してはLINEによるイベント・教室等の情報発信を行うとともに、LINEの利用者数（お友達登録者数）を増やす。				
	実施状況・成果・課題				
	5-2-4 P.119	実施状況・成果	LINEを使い積極的にスポーツ情報を発信した。 【H30実績】 登録者数：2,173人（年間117人増） スポーツ教室・イベント等情報発信 年間 31回）		
	課題	利用者数（LINEお友達登録者数）はあまり増えていないため、登録を促す活動を積極的に行いたい。			

担当課	スポーツ推進課	予算額	72千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	72千円		
事業名	事業の概要				
小美玉ス ポーツ新聞 を利用した 情報発信	小美玉市スポーツ新聞を活用し、総合型地域スポーツクラブの活動情報やイベント・教室のお知らせ等、市内のスポーツ活動に係る情報を市民に発信する。				
	実施状況・成果・課題				
	5-2-4 P.119	実施状況・ 成果	小美玉スポーツクラブに委託し、小美玉スポーツ新聞リンクを年4回発行。市内全小学生に配布するとともに、公共施設の窓口に設置し地域スポーツ情報を発信した。		
		課題	継続して読んでもらえるような内容、紙面づくり		

## ②活動促進のためのPRの工夫

担当課	スポーツ推進課	予算額	— 千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	— 千円		
事業名	事業の概要				
転入者へL I N E 勧誘 チラシの配 布★	転入の手続きをした市民に対して、スポーツ情報発信案内のチラシを配布する。				
	実施状況・成果・課題				
	5-2-4 P.119	実施状況・ 成果	転入者に（本庁市民課、小川・玉里総合支所の窓口で配布）LINE登録勧誘のチラシを配布した。 （配布対象者：全転入世帯）		
		課題	より興味を持ってもらうようなチラシの作成		

**基本方針5 生涯にわたる市民のスポーツ活動の活性化を目指したスポーツ環境をつくりまします。**

**【基本施策3】スポーツ環境の充実**

スポーツ環境の充実を目指し、スポーツ団体活動の支援・充実を図るとともに、指導者やボランティアの発掘・育成を目指した取組を強化します。また、総合型地域スポーツクラブの充実に取り組みます。

**基本方向1 スポーツ活動を支援する体制の整備**

○ 市民が日常的・継続的に運動・スポーツが行えるようスポーツ環境の充実を目指し、スポーツ団体の支援・充実を図ります。

目標指標		体育協会加盟団体会員数				
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
3,150人	3,379人	3,421人				維持継続

**①スポーツ団体の育成・支援**

担当課	スポーツ推進課	予算額	2,561千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	2,561千円		
事業名		事業の概要			
体育協会支援★	各団体の活動概要や主催する大会・教室等について、市のホームページや情報媒体を活用して積極的にPRをするなど、支援に努める。				
	実施状況・成果・課題				
	5-3-1 P.120	実施状況・成果	各団体が実施するスポーツ教室及びスポーツ大会等のイベント等について、市ホームページや広報紙、LINEを利用し積極的に情報発信を行った。 (団体数：5，情報発信：14回)		
		課題	継続的な財源の確保		

担当課	スポーツ推進課	予算額	872千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	872千円		
事業名		事業の概要			
スポーツ少年団支援★	各団体の活動概要や主催する大会・教室等について、市のホームページや情報媒体を活用して積極的にPRをするなど、支援に努める。				
	実施状況・成果・課題				
	5-3-1 P.120	実施状況・成果	各団体が実施するスポーツ教室及びスポーツ大会等のイベント等について、市ホームページや広報紙、LINEを利用し積極的に情報発信を行った。 ・団体数：1，情報発信：1回		
		課題	継続的な財源の確保		

②スポーツ団体等指導者の育成・確保

担当課	スポーツ推進課	予算額	1,440千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	1,035千円		
事業名	事業の概要				
スポーツ推進委員活動	地域で活動するスポーツ団体を支援するため、スポーツ推進事業を実施する際の連絡調整や実技指導を行い、市民のスポーツ活動の促進を図る。また、研修会等への積極的な参加を推進し、スポーツ推進委員の資質向上を目指していく。				
	実施状況・成果・課題				
	5-3-1 P.121	実施状況・成果	市主催のイベント運営のほか、地区コミュニティ等でのスポーツ・レクリエーション活動に積極的に参加し市民のスポーツ活動の促進を図った。また、実技研修会等に参加し、指導等の習得に努めた。 (3回)		
	課題	人材の確保，育成			

担当課	スポーツ推進課	予算額	— 千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	— 千円		
事業名	事業の概要				
スポーツ団体等指導者の育成	各種団体等と連携し、スポーツ指導者を対象に、誰もが安全にスポーツを楽しむための予防対策等に関する知識の普及啓発や、最新のスポーツ医・科学研究等について学習する研修の充実を図り、高い資質を持った指導者の育成に努める。				
	実施状況・成果・課題				
	5-3-1 P.121	実施状況・成果	スポーツ少年団の指導者を対象に研修会を行った。 参加者数：41名 研修会内容：育成年代における体重・体脂肪の管理調整  スポーツリーダー養成講習会，スポーツ少年団認定員講習会へ参加し，指導者の育成を推進した。 (H30：30名資格取得)		
	課題	団の指導方針や種目が異なるため，研修内容の工夫が必要である。			

#### ④総合型地域スポーツクラブの育成・支援

担当課	スポーツ推進課	予算額	—	千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	—	千円		
事業名	事業の概要					
総合型地域スポーツクラブの利用促進★	総合型地域スポーツクラブの利用促進に努め、認知度を上げ会員数を増やす。					
	実施状況・成果・課題					
	実施状況・成果	スポーツ教室をはじめ親子レク・幼稚園巡回教室・放課後子どもプラン訪問など積極的に出張教室を行った。 (H30会員数：316名)				
5-3-1						
P.121	課題	認知度を上げ会員数を増やすために活動を行っているが、結果に結びつかない。				

#### 基本方向2 特色あるスポーツ施策の推進

○ 競技スポーツの支援に努めるとともに、地域性を生かした新たな地域スポーツの充実、スポーツ交流を図ります。

目標指標	スポーツ優秀選手・団体表彰数					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
9団体	7団体	4団体				12団体

#### ②スポーツ優秀選手等の顕彰

担当課	スポーツ推進課	予算額	658千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	658千円		
事業名	事業の概要				
スポーツ優秀選手・優秀団体表彰★	全国大会や関東大会等に出場したスポーツ優秀選手に対して表彰・奨励を行う。				
	実施状況・成果・課題				
	実施状況・成果	スポーツ優秀選手に対し、小美玉市民の日に表彰を行うとともに参加負担の軽減のため補助を行った。 【H30実績】 関東大会出場 7名 2団体 全国大会出場 30名 2団体 参加補助金 510,000円			
5-3-2					
P.122	課題	継続して事業が実施できるよう財源の確保			

### ③新たな地域スポーツの創造

担当課	スポーツ推進課	予算額	8千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	8千円		
事業名	事業の概要				
地域特性を生かしたスポーツ活動	霞ヶ浦湖岸を活用したサイクリングや、地域の自然を楽しむウォーキングなど、地域特性を生かしたスポーツ活動を推進する。				
	実施状況・成果・課題				
	5-3-2 P.123	実施状況・成果	霞ヶ浦湖畔に面した大井戸湖岸公園で、桜の開花時期にあわせて「桜ヨガ」教室を行った。 ※しかし当日は雨天のため、玉川地区学習等供用施設で実施。 (参加者数：20名)		
	課題	隣接する市と連携したサイクリング等のイベントの実施			

#### 基本方向3 多様なスポーツ交流の推進

○ 市内のスポーツ資源を活用し、実施可能なスポーツ大会、イベントやスポーツ合宿などを誘致し、スポーツ交流の推進に努めます。

目標指標	トップアスリートスポーツ教室の開催数					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
4回	1回	3回				5回

#### ①トップアスリートに触れる機会の充実

担当課	スポーツ推進課	予算額	832千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	832千円		
事業名	事業の概要				
トップアスリートスポーツ教室★	競技力向上や活動意欲の向上を目的とし、トップアスリートを招聘したスポーツ教室等を開催する。				
	実施状況・成果・課題				
	5-3-3 P.123	実施状況・成果	トップアスリートを講師として招き、スポーツ教室を実施 【H30実施状況】 ・水泳教室（岩崎恭子） 参加者数30名 ・野球教室（江尻亮・遠藤一彦） 参加者数65名 ・バレーボール教室（山本隆弘） 参加者数45名		
	課題	限られた時間の中での指導には限界がある。			

②スポーツ大会・イベントの推進

担当課	スポーツ推進課	予算額	3,689千円	平成30年 度の評価	B
		決算（見込）額	3,295千円		
事業名	事業の概要				
スポーツ・レクリエーション・イベント等の開催★	「小美玉スポレクデー」や「歩く会」、「ニュースポーツ大会」等の“するスポーツ”の機会を提供することにより、誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境を充実させる。				
	実施状況・成果・課題				
	5-3-3 P.124	実施状況・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小美玉スポレクデーについては毎年実施種目を変えながら行っており、H30は5,596人（延べ）の参加者があった。</li> <li>【H30実績】</li> <li>・ニュースポーツ大会 167名</li> <li>・スポレクデー 5,596名（延べ）</li> <li>・歩く会 350名</li> <li>・駅伝大会 1,165名</li> </ul>		
	課題	歩く会やニュースポーツ大会は近年内容等の変更は無く参加者数も伸びていないため見直しが必要である。			

**基本方針5 生涯にわたる市民のスポーツ活動の活性化を目指したスポーツ環境をつくれます。**

**【基本施策4】スポーツ施設の充実**

市民が安全で快適にスポーツ活動を楽しめるよう施設の安全確保に努めるとともに、利用者の利便と質の向上を目指した施設の整備・充実を図ります。

**基本方向1 スポーツ施設環境の充実**

○ 市民が安心して運動・スポーツ活動を行えるよう、施設の点検整備などスポーツ施設の安全確保に努めるとともに、利用者の利便を図るための施設・設備の充実を図ります。

○ 誰もが利用しやすいスポーツ施設を目指し、施設のバリアフリー化の促進や施設利用システムの向上に努めるとともに、スポーツ施設への交通アクセスの向上を図ります。

目標指標	スポーツ施設利用者数（年間延べ）					
平成28年度実績値	平成29年度実績値	平成30年度実績値	令和元年度実績値	令和2年度実績値	令和3年度実績値	令和4年度目標値
173,900人	159,469人	158,849人				207,600人

**①スポーツ施設の安全確保**

担当課	スポーツ推進課	予算額	88,787千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	87,217千円		
事業名		事業の概要			
スポーツ施設維持管理	スポーツ施設の適正な維持管理を行い、市民が安全・安心に運動・スポーツ活動ができるよう努める。				
	実施状況・成果・課題				
	5-4-1 P.125	実施状況・成果	玉里運動公園（玉里海洋センター含む）及び小川海洋センターについては、指定管理を導入し適正な管理運営を行った。その他市内スポーツ施設についても、市民が快適で安全に利用できるよう施設管理を行った。		
		課題	施設の老朽化や利用状況を勘案し、大規模改修をする必要がある。		

②スポーツ施設の整備・充実

担当課	スポーツ推進課	予算額	88,650千円	平成30年度の評価	B
		決算（見込）額	77,288千円		
事業名	事業の概要				
スポーツ施設等の設備更新・整備★	施設の設備更新や整備を推進するとともに、平成31年（2019年）の茨城国体開催を契機とし、誰もが利用しやすい施設づくりに努める。				
	実施状況・成果・課題				
	5-4-1 P.126	実施状況・成果	小川海洋センターの改修工事や希望ヶ丘公園の駐車場造成工事等市内体育施設の修繕や整備を行った。		
	課題	定期的な修繕を行う財源の確保			

## 6 小美玉市事務事業外部評価委員の意見

元木 理寿（常磐大学総合政策学部准教授）

### 1. 「教育委員会の活動状況」について

今回の事業にかかる点検評価では、全体として概ね評価いたします。しかし、評価の方法については若干の再考の余地があると考えます。各種事業について、現状、問題点、課題をある一定程度理解していなければ、評価することは難しいと思います。今回の評価については、A B Cの3段階評価でしたが、B評価に関しては50～100%となっており幅が広がっていたことも評価の難しさを感じた点になります。

実際には、各課とも課題の書き方には、表現方法をはじめズレがみられました。実施状況は異なるために、一様な書き方はできませんが、「評価を受ける」ということを念頭に、書き方（表現方法と具体性）については再考が必要かと思われる。また、スペースの問題もありますが、実施状況を受けて、どんな問題があるのか、どのような課題が出ているのかは整理していただきたいと思えます。

一方、全体を通して人材確保、財源の確保が共通の課題となっているようにみえました。学校教育、生涯教育を通して人材確保は、これまでの経験者を大事にしつつも、世代交代あるいは新規世代の確保は早急の課題であると考えます。世代が離れることで情報がかえって繋がれなくなったり、たとえばイベントなどでも人が集まらなかったりするような状況も出てきているのではないのでしょうか。共通の経験ではなく、個別の経験が重視される今日においては、価値観を押しつけず、連携をとれるような人材確保が必要です。難しい課題ではあると思いますが、引き続きお願いしたいと考えます。施設等の維持、修繕といった財源の確保に関しては、一部署で解決できない問題となりつつあります。法的制約もあるなかで難しいとは思いますが、施設の利用の見直し、共有化については市全体の問題でもあるでしょうから、今後はより部署を超えてお考えいただければと思います。

### 2 「施策の実施状況」について

基本方針1 子供たちの自主性・自立性を培い、自ら学び、たくましく社会を生き抜く力を育みます。

基本方針2 確かな学力の定着を図るとともに活用する力を伸ばし、子供たち一人一人の可能性を広げます。

今回の基本方針1および2については、概ね評価いたします。特に、指摘

する点はありません。

基本方針3 地域がもつ特色や実態に合わせたより良い学習環境をつくりま  
す。

今回の基本方針3については、概ね評価いたします。特に、指摘する点はご  
ざいませぬ。

コメント：今日の先生方の出身地、時間的制約あるいは社会的変容、学び方  
の変化により学びの根底にある「地域理解」は難しい状況にあります。郷土教  
育もグローバル化や様々な教育のなかで曇りがちです。しかし、人口  
が減少し、突発型の災害が多発するようになった今日だからこそ地域が持つ特  
色や特色を教育委員会に携わる方々、教員も再度意識する時代に入ったと感じ  
ています。多岐にわたる業務が増えているなかで簡単ではないと思いますが、  
地域連携、人材の掘り起こしをしながら、生活の舞台である地域について考え  
ていただけますと幸いです。

基本方針4 生涯にわたる市民の学びや文化芸術活動を目指した学習環境を  
つくります。

基本方針5 生涯にわたる市民のスポーツ活動の活性化を目指したスポーツ  
環境をつくります。

今回の基本方針4および5については、概ね評価いたします。特に、指摘す  
る点はございませぬ。

コメント：学校教育と生涯教育を同じように論じていくことは、現時点では  
課題は多いですが、すでに少子高齢化が進んでいる状況を踏まえれば、学校教  
育と生涯教育の連携を進めることは考えていたければと思います。また、基本  
方針4および5においても、短中長期の計画を立てつつ、人材の掘り起こしが  
早急の課題であると考えます。

## 1. 「教育委員会の活動状況」について

「教育」は、国民にとって常に大きな関心事である。それだけに、新聞・TVをはじめとするマスコミにおいて、大なり小なり取り上げられることがしばしばである。昨今話題の中心となっている「神戸市内の小学校における教師へのいじめ」問題、そして「いじめ自殺」問題等々。その度ごとに、教育委員会が謝罪会見を開き、マスコミからの糾弾の嵐に晒されることになる。何ともやり切れない気持ちになるのは私だけではないだろう。

さて、前置きが長くなってしまったが、小美玉市の教育委員会事務事業点検の評価委員になって、教育委員会の仕事量の多さ、複雑さに驚くばかりである。そして、それらを点検・評価するという大変な役目を担い、毎年の会議に出るたびに、的外れな意見を述べて、自己嫌悪に陥るばかりである。

また、横道にそれてしまったが、教育委員会の活動状況については、定例会・臨時会ともに重要な案件が報告され、協議されているということを改めて実感した次第である。さらに、市長と教育委員会で構成された総合教育会議という会議まで持たれていたことも初めて知った。私が教育の現場から離れて約6年経ったが、この約6年間の小美玉市の教育も大きな変遷を経て、大きな飛躍をしたというのが実感である。特に、私にとっては念願であった小川小学校と橘小学校の統合という大きなプロジェクトが「小川南小学校」という形で完結したこと。さらには、玉里学園義務教育学校、小川北学区義務教育学校と続く新しい教育の形が小美玉市の教育を発展させてくれるものと思う。

時代の流れによって、教育の姿も変遷するように、小美玉市の教育もニーズに対応した施策を講じていかなければならないのだろう。一つの課題をクリアすれば、また次の課題が生まれてくる。一つ一つの課題に地道に取り組んでいくことが求められていると思う。

## 2 「施策の実施状況」について

基本方針 1 子供たちの自主性・自立性を培い、自ら学び、たくましく社会を生き抜く力を育みます。

{基本施策 1} 命を大切にする心の育成

意見 (1) 余談だが、神戸市で「教員による教員へのいじめ」が報道されている。このようなことがあるのかという驚きとともに、ひょっとしたら、これは氷山の一角なのかも知れないという思いもある。まず、幼児教育においても、してよいことと悪いことがあることに気付き、考えながら行動するための指導

の充実が必要である。小中学校における道徳科も今回の新学習指導要領の目玉であるが、家庭・地域社会への道徳科の授業公開の積極的な推進と道徳だより等による情報発信も大切である。

{基本施策2} 健やかな体の育成

意見(1) 中学校における運動部活動は、担当する教職員にとっても、生徒にとっても大きな存在である。技術的な指導や生徒間の人間関係等トラブルが発生する場合もある。教職員は、日常の学習指導や生徒指導に加えて、放課後や休日等の部活動にも時間を当てなければならず心身ともに疲弊する要因ともなっている。そのような中で運動部活動指導員は、大きな助力になり得る存在である。安易な導入は、厳に慎むべきだが、推進したい。

{基本施策3} 社会を生き抜く力の育成

意見(1) 小学校5年生を対象にした自然教室は、旧小川町時代も含めて伝統的な行事として定着している。市の財政的負担と教職員をはじめとする関係者の努力によって、中身の変遷もあったが、子ども達にとって豊かな体験活動になっている。今後も継続したい。

{基本施策4} 就学前教育の充実

意見(1) 幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けての取り組みが加速している。これまでの課題として、「小一プロブレム」があり、小学校入学直後に不適應を起こした児童が不登校になったり、学習に取り組めなかったりしている。幼稚園と小学校の連携がこれまで以上に望まれる。

{基本施策5} 次代を担う青少年の健全育成

意見(1) 青少年の健全育成のために市当局や各種団体が様々な施策を講じていることを高く評価したい。これからは各コミュニティとの連携を図りながら推進していただきたい。

基本方針2 確かな学力の定着を図るとともに活用する力を伸ばし、子供たち一人一人の可能性を広げます。

{基本施策1} 確かな学力の定着

意見(1) 小学校では、2019年度で新学習指導要領の移行期間が終わり中学校では、2020年度移行期間が終わるというこの時期は、教職員にとっても、児童生徒にとっても大変な時期である。とりわけ、教職員は、新学習指導要領の趣旨をしっかりと理解し、子ども達の学力の向上を図る必要がある。そし

て、この時期は、指導室の果たすべき役割も大きい。新学習指導要領の完全実施に向けて、適切な助言をお願いしたい。

{基本施策2}

新たなニーズに対応した教育の推進

意見(1)

姉妹都市アビリンでの国際交流事業や学びの広場サポート事業、ALT配置事業は、大きな成果を上げていることはすばらしい。これからは、地域資源の発掘と活用により積極的に取り組んでほしい。

{基本施策3}

キャリア教育の充実

意見(1)

職場見学や職場体験は、キャリア教育を充実させるうえで、非常に有効な手法であるが、受け入れ先が限定されて生徒のニーズに対応できていない面が見られる。小美玉市に限らず、近隣の商工会やJAなど様々な窓口を駆使し、さらに他中学校との情報交換を積極的に実施してほしい。

{基本施策4}

情報活用能力を育てる教育の充実

意見(1)

ICT機器の活用は、これからの児童生徒にとって必須である。児童生徒が自由に操作できる機器の台数確保と指導教員の機器活用の能力向上が重要な要素となる。電子黒板やタブレットが宝の持ち腐れにならぬよう有効活用を図りたい。

{基本施策5}

インクルーシブ教育の充実

意見(1)

障がいのある幼児、児童生徒が急増している。特別支援学級の数も増えているが、学級担任だけでは対応できない事態も起きている。そのため生活介助員を必要としているが、人手不足と対象児童生徒に対処できる生活介助員の力量不足が課題である。

基本方針3 地域がもつ特色や実態に合わせたより良い学習環境をつくります。

{基本施策1}

小中一貫教育の推進と学校の適正規模・適正配置

意見(1)

小川南小学校校舎建築で14億5千万円、さらに今後玉里学園義務教育学校、小川北学区義務教育学校と続く校舎建築に膨大な金額が投入されることになるが、これらが小美玉市の子ども達より良い教育環境に資するならば、これはすばらしい事であろう。

施設整備が整備されれば、これからはいかに教育の中身を充実させられるかが問われる。小中連携・小小連携プロジェクト等これから取り組むべき課題は山積している。それだけに、教職員の業務に大きな負担がかかってこよう。ただでも超過勤務の教職員の心身の健康には十分な配慮をしていた

だきたい。

{基本施策2} 教職員の業務の質を高めるための支援やサポート体制の充実

意見(1) 教職員の業務については、前の項目でもふれたが、超過勤務が常態化しているといってもいい。これから業務の効率化をどう図るかが鍵である。効率化を図りながら、教職員の資質を向上させることは至難の業ではあるが、校長を中心とする管理職の指導力は重要なポイントである。

{基本施策3} 安全・安心で、地域とつながる教育施設整備の推進

意見(1) 玉里学園義務教育学校や小川北学区事務教育学校が開校するまでは、既存の小中学校は、安全・安心を担保するために、改修の必要があろう。また、校舎等の耐震性は高められたが、登下校時の安全に対する施策はこれからという学校が多い。特に今後統合化により、学区が大きく広がったり、通学路が変わったりすることで対応を迫られることも多いと思う。

{基本施策4} いじめや不登校等、児童生徒のためのサポート体制の充実

意見(1) 不登校、いじめの問題は喫緊の課題である。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの役割は、年々重要さを増している。増員をお願いしたい。

{基本施策5} 地域に開かれた学校の推進

意見(1) 学校支援ボランティア登録者がなかなか増えない状況が続いている。また、登録者が十分に生かされていない傾向があると思う。今、小川地区(旧小川小学校)のコミュニティの立ち上げが具体化してきているが、市内各地区にはコミュニティがすでにあるので、コミュニティとの連携を図ることも有効な手段である。

基本方針4 生涯にわたる市民の学びや文化芸術活動を目指した学習環境をつくります。

{基本施策1} 生涯学習社会の実現

意見(1) 小川公民館の老朽化が著しい。小川小学校の跡地(校舎の撤去)に小川公民館を新築し、小川地区における生涯学習の拠点としたい。校庭は、子ども達やシニアの方々をはじめとする市民が憩える場所として利活用したい。小川公民館の跡地や旧小川幼稚園等は、駐車場として整備し、併せて周辺道路の拡張をして欲しい。

意見(2) 「やすらぎの里小川」は、落ち着いた雰囲気の中に、和のたたずまいがふんだんにある施設にもかかわらず、なかなか利用

率が高まらないことが残念である。あじさいの植樹で見所も増えたわけですが、高齢者が足を運ぶには立地条件が悪いことも、来場者が増えない要因かも知れません。また、施設をはじめ周辺の環境の維持・管理のために大きな財政的負担はあるだろうが、より多くの市民に利用していただくために、無料で開放することも必要である。

{基本施策2} 知識の醸成と価値創造の場の充実

意見(1)

個人的にも小川図書館・資料館はよく利用している。職員の方々の対応が適切で非常によい雰囲気の中で本と親しめる機会がある幸せを実感している。放課後や土日、夏季冬季の休業日など小・中・高の学生がたくさん入館して座席も足りないくらいだ。開館時間も午後8時までと働く人にも便宜が図られていることもよいことだと思う。

{基本施策3} 文化芸術の創造・発信

意見(1)

小美玉市の文化芸術の創造や発信は、とても高く評価できると思う。「アピオス」、「みの〜れ」、「コスモス」がそれぞれに特色を出して活動していると思う。活性化のためのプロジェクトチームを結成して市民の認知度を高めようとする取り組みも良いと思う。また、歴史探訪講座や戦争体験講演会など継続して企画していることもよいと思う。特に戦争体験講演会には数多くの参加者があり、体験者の講演にはおおきな感銘を受けた。終戦後70年以上が経過して、戦争体験者の生の声を聞かせていただくことが難しくなってきているので講演会のDVD化など記録として残せばいいのではないだろうか。

基本方針5 生涯にわたる市民のスポーツ活動の活性化を目指したスポーツ環境をつくります。

{基本施策1} 子供のスポーツ機会の充実

意見(1)

スポーツ施設の充実やスポーツ教室の実施も重要なことではあるが、まず子ども達が身近に遊べる環境が乏しい。私の住む本田町区においても放課後や土曜日、日曜日に狭い公民館の駐車場でサッカーやバスケットボールをしている姿を見かける。安全面や管理面で難しい点もあるだろうが、子ども達がもっと身近に遊べる広場が欲しい。

{基本施策2} 生涯スポーツ活動の推進

意見(1)

本田町区では、毎週火曜日、地区公民館でシルバー体操を実施している。私も参加しているが、毎回10名程度の参加者であるがとても良い雰囲気である。女性の方がほとんどだが、地

区としてもPRして男性の参加を増やしたいと思っている。体操の後のお茶を飲みながらのおしゃべりも楽しい。

お年寄りは、車を持っていなかったり、免許を返納したりしている人も多いので、身近な地区公民館利用の体操教室への助成をして欲しい。

{基本方針3}

スポーツ環境の充実

意見(1)

市民体育祭からスポレクデーへ移行して次第に定着してきていると思う。実施後アンケート調査を実施し、内容の見直しを図って欲しいと思う。市民駅伝大会は、参加者も多く成果を上げていると思う。一方、新春歩け歩け大会は以前と比べ低迷しているように思う。実施時期や実施場所等の再検討をしてはどうだろうか。

{基本施策4}

スポーツ施設の充実

意見(1)

新たなスポーツ施設の建設には、莫大な財源を必要とするので、既存の施設をリニューアルすることで特色あるスポーツ施設をつくって欲しい。特にこれから学校統合により、小学校が廃校になるので、市民のニーズを把握して跡地の利活用を図りたい。

## 2 「施策の実施状況」について

基本方針1 子供たちの自主性・自立性を培い，自ら学び，たくましく社会を生き抜く力を育みます。

社会の一員として自立して生きる人づくり，心・体・頭，それぞれにバランスよくそして癒合して成長できるよう事業が丁寧に組み立てられ，予定通り実施できている。基本方針1を核に5方針がよりよく機能的に推進するよう期待される。

家庭の在り様の変化により一人一人の生活スタイルが多様化している中であって，親も子供も時間的制約がそれぞれに多くなり関わりたくても関われない実態にあるのも事実。そのための手立てが求められている。公的支援の在り方に激変する社会の変化への対応が急務。特に公的役割とは。

基本方針2 確かな学力の定着を図るとともに活用する力を伸ばし，子供たち一人一人の可能性を広げます。

一人一人の特性に応じた事業を着実に実施・浸透している。子供たちは，様々な特性を秘めている中で，それらがその子らしさとして認められ，成長していけるよう事業の成果が期待される。

教育現場では，子供一人一人の今を見通すための，直接一人一人の子供たちと関わり触れ合う時間が極端に少なくなっていると聞く。目の前の今の子供の実際（環境・心・考え方・体調等）から成長のための手立てがよりの確に見えより良い浸透が見込まれると考えると，教職員の仕事の精選・効率化等工夫されていると思うが限界にきているのが現状ではないか。一層の人的配置が望まれる。

基本方針3 地域がもつ特色や実態に合わせたより良い学習環境をつくります。

地域の実態に応じた新たな学校づくりに市の独自性が見られ，地域の特性を生かしたより良い教育環境の整備に今後の学校づくりのモデルとして，期待される。

地域間の交流事業を市全体に浸透していくための取り組みの事業の継続を確かに進められたい。

学校支援者の意思を尊重しながら，子供たちにとってどのような支

援が効果的か、現場と支援者の共通理解をどこで、どのようにするか。検討されたい。

基本方針4 生涯にわたる市民の学びや文化芸術活動を目指した学習環境をつくります。

少子・高齢化が益々増加していく社会にあって、健康寿命を延ばしていくための関心度は高い。それは若年層の人たちも無関心ではないはず。生涯学習に求められるものは大きい。

高齢者の数が増えるたび、求める生涯学習の内容・参加の仕方等、ますます多様化し、価値観の多様化も若年層だけではない。ニーズを拾い上げるのが難しいのではないかと思われるが、公的平等性を考えると一計の余地があるのではないか。

若者、働く世代にむけて、特定の場所に集まらなくても学べる生涯学習環境は、将来に繋げる生涯学習のきっかけづくりとしてどうか。

基本方針5 生涯にわたる市民のスポーツ活動の活性化を目指したスポーツ環境をつくります。

社会状況の激しい変化の中にあって、現状を分析、ニーズを取り込んで様々な事業が予定通り実施され次年度への継続が期待される。

スポーツに親しむ、楽しむ、深まりを目指す、目標設定を段階的に取り組めるよう事業が組まれているので、事業の関連性や連続性は、市民も共有できるようわかりやすい周知も成果を高められると思われる。

若者、働く世代、高齢者をそれぞれに分けた独自のものと、それらを一緒に様々なスポーツを選択できる事業も、できることをできる範囲で参加し、スポーツを楽しみながら世代を超えた新たな交流が市民を結ぶ活動の一つになったのではないか。